マクロでみる経済の動き

# 最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

令和8年11月9日

目　次


**1 本県の経済概況** 2～3

**2 主な指標の動き**

（1） 個人消費 4～7
（2） 建設需要 8～10
（3） 生産活動 11～12
（4） 雇用・労働 13～15
（5） 物価 16
（6） 企業・金融 17～18
（7） 市場 19
（8） 中小企業の業況 20

**3 主要経済指標** 21～27

**4 参考**

1 中小企業景気動向調査（(公財)福島県産業振興センター） 28～33
2 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会) 34～39
3 景気動向指数(福島県) 40
4 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店) 41
5 月例経済報告(内閣府) 41
6 「最近の県経済動向」総合判断(福島県) 41



福島県　企画調整部　統計課

# 1　本県の経済概況

## 総合判断

前月判断からの変化方向　**前月据置**

県内の景気は、足踏み状態となっている。

個別判断　◆　概　要

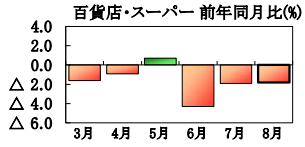
### (1) 個人消費

判断の変化方向

◆ 弱い動きがみられる。

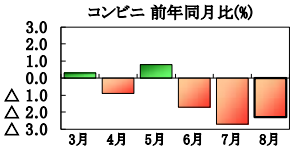
◆ **百貨店・スーパー販売額（8月）**

全店舗ベースで総額約251億円、対前年同月比1.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている（既存店前年同月比1.4%減）。




◆ **コンビニエンスストア販売額（8月）**

コンビニエンスストア販売額は総額約189億円、対前年同月比2.3%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

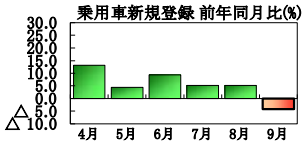



◆ **専門量販店販売額（8月）**

家電大型専門店は総額約39億円（対前年同月比2.0%減）、ドラッグストアは総額約128億円（同3.4%増）、ホームセンターは総額約54億円（同1.4%減）となっている。

◆ **乗用車新規登録台数（9月）**

新規登録台数は5,140台、対前年同月比4.2%減となり、6か月振りに前年を下回っている。内訳をみると、普通車及び小型車は前年を上回ったが、軽自動車は前年を下回った。



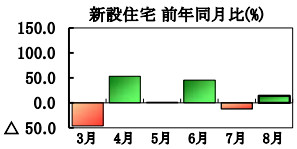

### (2) 建設需要

判断の変化方向

◆ 一部に持ち直しの動きがみられる。

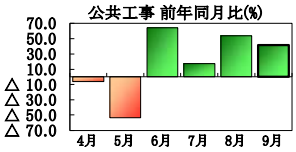
◆ **新設住宅着工戸数（8月）**

新設住宅着工戸数は647戸、対前年同月比14.1%増となり、2か月振りに前年を上回った。



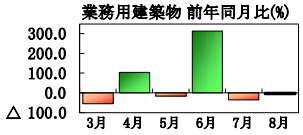

◆ **公共工事請負金額（9月）**

公共工事請負金額は総額約394億円、対前年同月比41.6%増となり、4か月連続で前年を上回った。




◆ **業務用建築物着工工事費（8月）**

業務用建築物着工工事費は総額約104億円、対前年同月比6.2%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



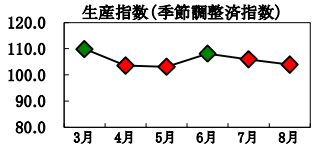

### (3) 生産活動

判断の変化方向

◆ 一進一退の状況が続いている。

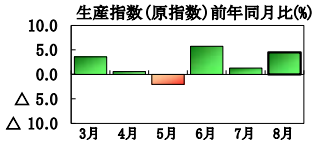
◆ **鉱工業指数　（8月）**

鉱工業生産指数・季節調整済指数(速報値)は103.9、対前月比1.9%減となり、2か月連続で前月を下回った。
なお、原指数（速報値）は95.1、対前年同月比4.5%増となり、3か月連続で前年を上回った。




鉱工業出荷指数（季節調整済指数・速報値）は104.0、対前月比0.1%減となり、2か月連続で前月を下回った。

鉱工業在庫指数（季節調整済指数・速報値）は129.2、対前月比2.5%増となり、2か月振りに前月を上回った。



個別判断　　◆　概　要

## (4) 雇用・労働

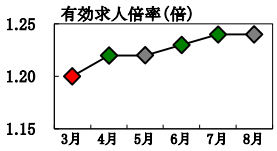
判断の変化方向 ⇨

◆ 緩やかな持ち直しの動きがみられる。

### ◆ 求 人 倍 率（8月）

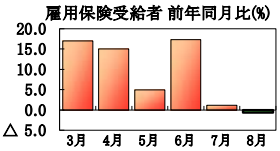
新規求人倍率は1.98倍（季節調整値）、前月と同水準となっている。

有効求人倍率は1.24倍（季節調整値）、前月と同水準となっている。
なお、有効求人数は2か月連続で前年を上回り、有効求職者数は15か月連続で前年を上回っている。



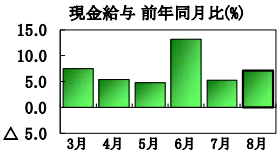

### ◆ 雇用保険受給者実人員（8月）

雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は7,214人、対前年同月比0.7%減となり、15か月振りに前年を下回っている。



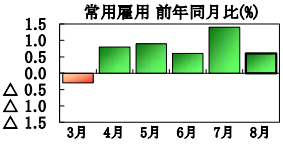

### ◆ 労 働（8月）

現金給与総額指数は102.2（事業所規模5人以上）、対前年同月比7.1%増となり、9か月連続で前年を上回っている。




所定外労働時間指数は93.6、対前年同月比11.4%増となり、6か月連続で前年を上回っている。

常用雇用指数は100.3、対前年同月比0.6%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



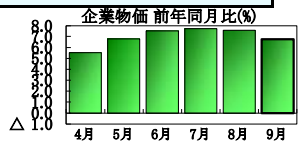

## (5) 物　価

判断の変化方向 ⇨

◆ 企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。

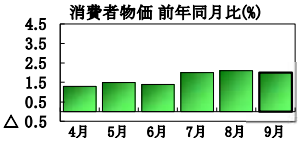
### ◆ 国 内 企 業 物 価 指 数（9月）

物価指数は135.7（速報値）、対前年同月比6.8%増となり、67か月連続で前年を上回っている。
なお、対前月比は0.3%減となっている。




### ◆ 福島市消費者物価指数（9月）

物価指数は102.3、対前年同月比2.0%増となり、59か月連続で前年を上回っている。なお、対前月比は0.2%増となっている。



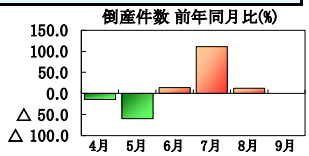

## (6) 企業・金融

判断の変化方向 ⇨

◆ 企業倒産件数は前年と同数となり、負債総額は前年を下回った。
預金残高は前年を下回り、貸出残高は前年を上回った。

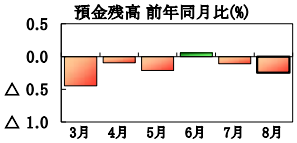
### ◆ 企 業 倒 産（9月）

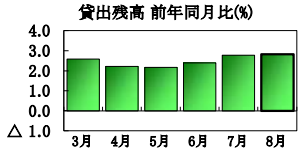
倒産件数は9件、前年と同数となった。
負債総額は12億2,000万円、対前年同月比3.9%減となり、2か月振りに前年を下回った。




### ◆ 金 融 機 関 預 貸 残 高（8月）

預金残高は10兆3,526億円、対前年同月比0.2%減となり、2か月連続で前年を下回った。
貸出残高は5兆2,474億円、対前年同月比2.8%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。




### ◆ 貸 出 約 定 平 均 金 利（8月）

平均金利は1.293%となり、対前月差0.023ポイント上昇し、12か月連続で前月を上回った。

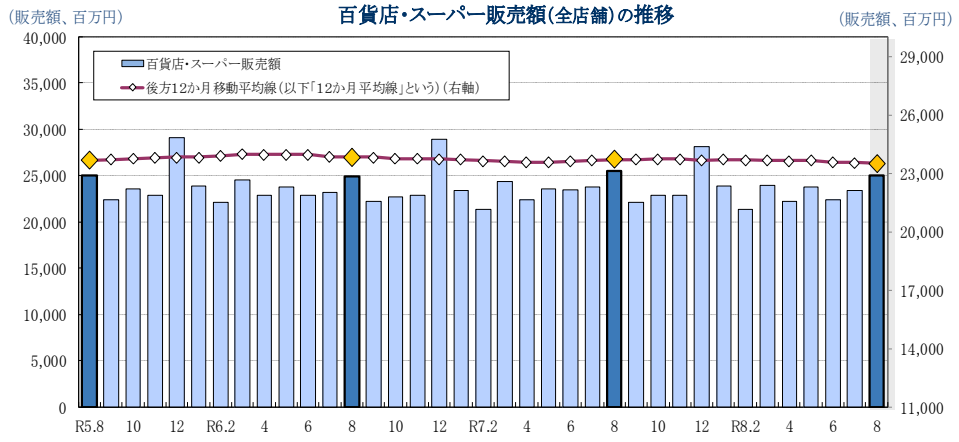
※備考　指標名の色について、前年と比較（鉱工業指数及び求人倍率については、前月と比較）して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

## 2　主な指標の動き

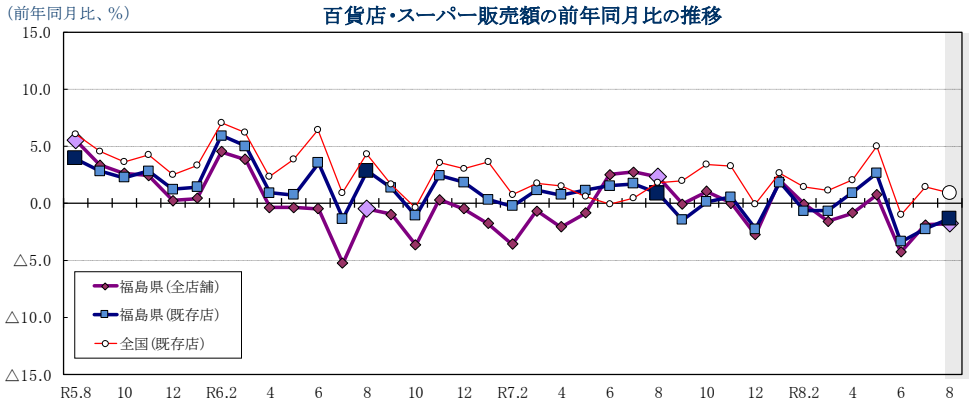
### （1） 個人消費

百貨店・スーパー販売額(8月)は全店舗ベースで総額約251億円、対前年同月比1.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

なお、百貨店・スーパー販売額の既存店ベースは同1.4%減となっている。




（資料　経済産業省）

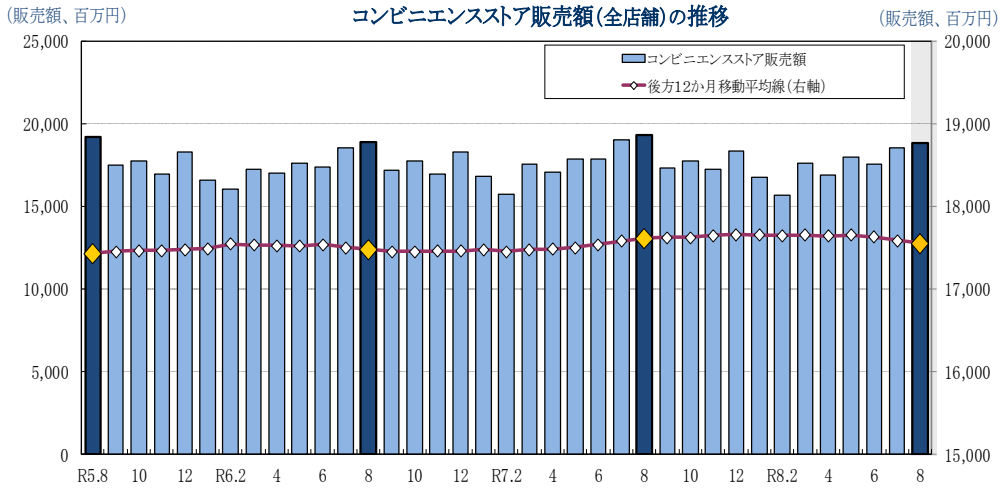



（資料　経済産業省）

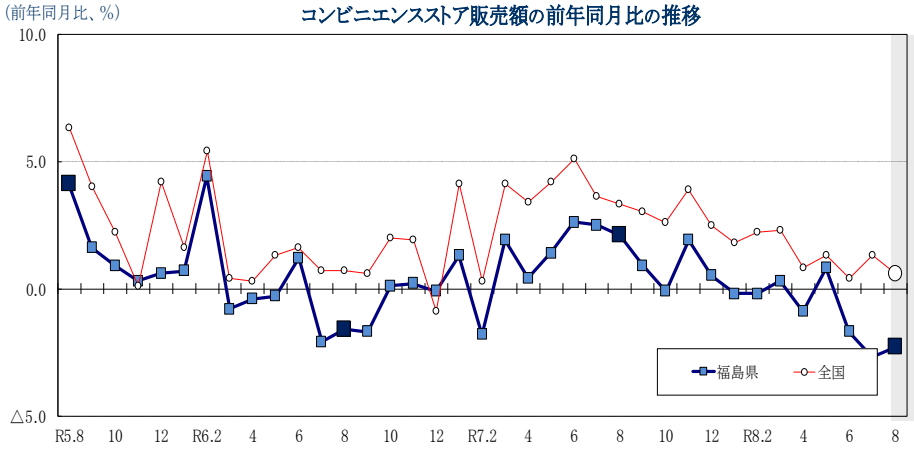
**【百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)】**

調査対象となる百貨店2店とスーパー120店(8月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

コンビニエンスストア販売額(8月)は総額約189億円、対前年同月比2.3%減となり、3か月連続で前年を下回っている。




(資料　経済産業省)




(資料　経済産業省)

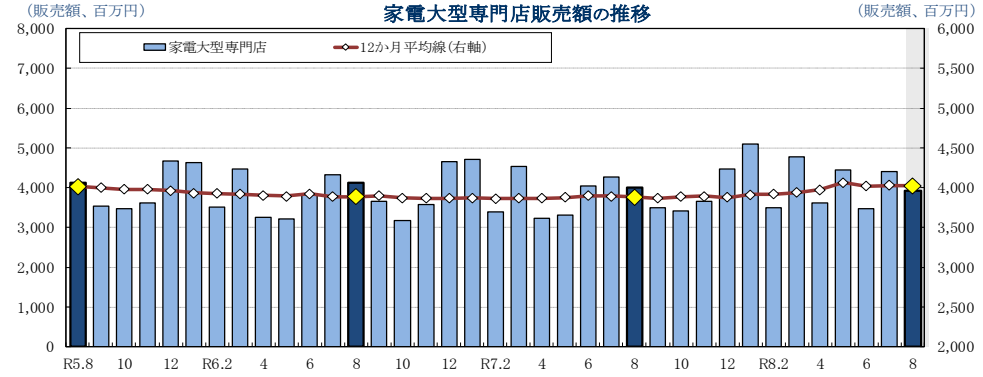
**【コンビニエンスストア販売額】**

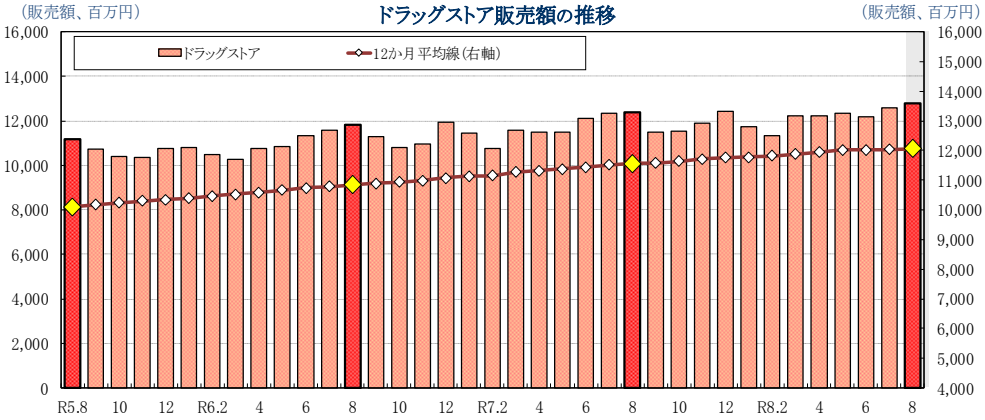
商業動態統計の業態別販売額では、百貨店・スーパー販売額に次ぐ規模であり、平成27年7月分から都道府県別に販売額が公表となりました。店舗数は百貨店・スーパーに比べ約8倍となっており、消費者に身近な店舗として存在感を増してきています。

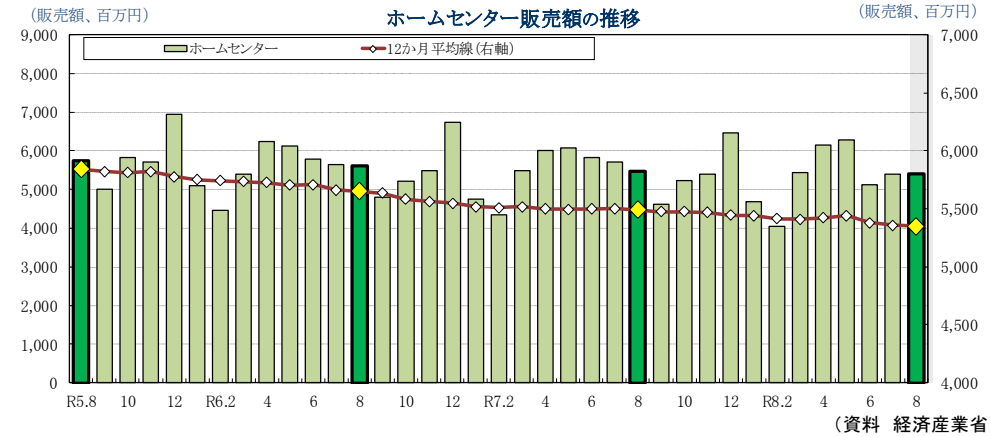
専門量販店販売額(8月)は家電大型専門店は総額約39億円、対前年同月比2.0%減となり、2か月振りに前年を下回った。

ドラッグストアは総額約128億円、対前年同月比3.4%増となり、64か月連続で前年を上回った。

ホームセンターは総額約54億円、対前年同月比1.4%減となり、3か月連続で前年を下回った。




(資料　経済産業省)

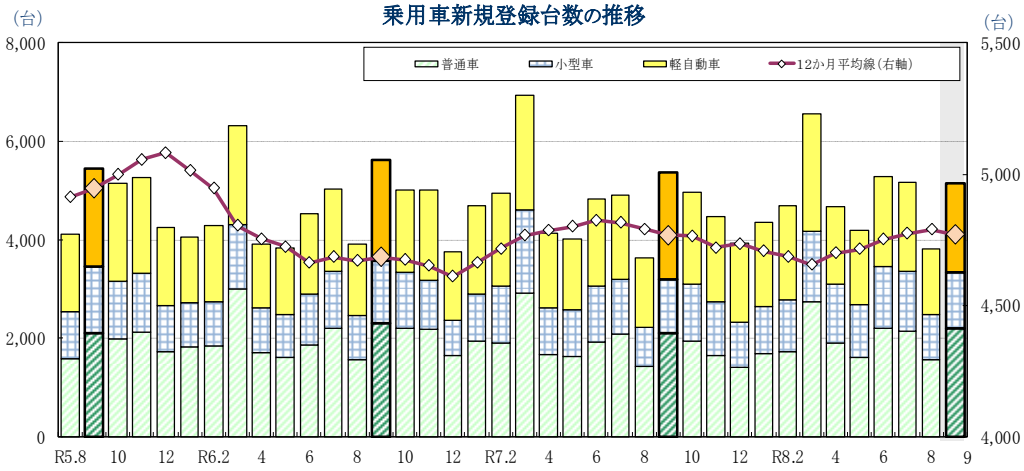
**【専門量販店販売額】**

家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター販売額は、平成26年1月分から「専門量販店販売統計」として開始された統計です。家電大型専門店は比較的高額な耐久財を扱っていたり、ドラッグストアやホームセンターは家庭用品や日用雑貨等多品目を扱っていたりと消費者の生活に合わせた商品を販売しているため、消費動向をみる上で注目される指標となってきています。

乗用車新規登録台数(9月)は5,140台、対前年同月比4.2%減となり、6か月振りに前年を下回っている。

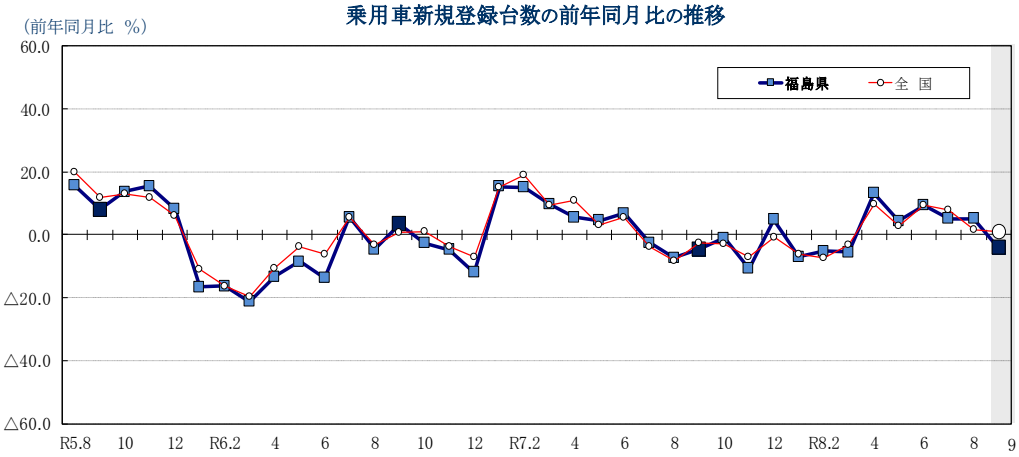
内訳をみると、普通車及び小型車は前年を上回ったが、軽自動車は前年を下回った。

乗用車新規登録台数の推移




(資料　東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

乗用車新規登録台数の前年同月比の推移



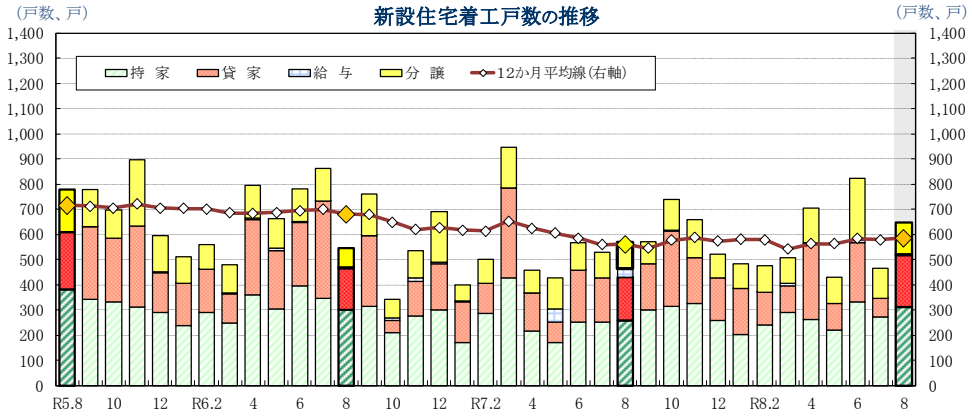

(資料　東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

**【乗用車新規登録台数】**

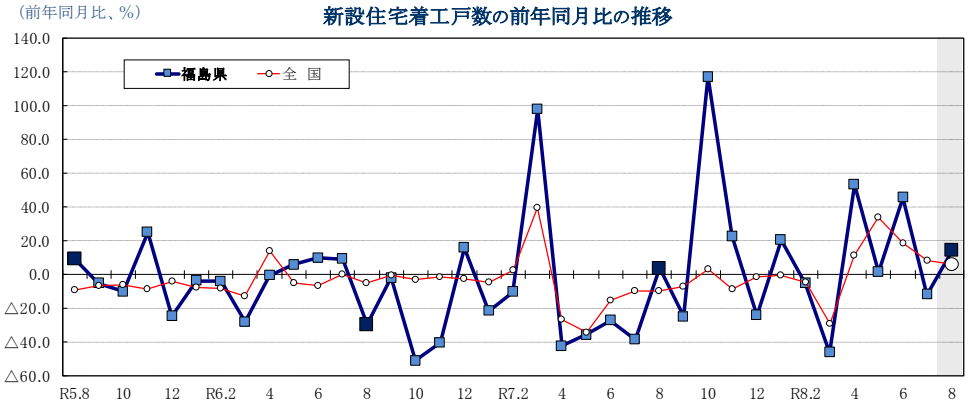
乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

## （2） 建設需要

新設住宅着工戸数(8月)は647戸、対前年同月比14.1％増となり、2か月振りに前年を上回った。




（資料 国土交通省）



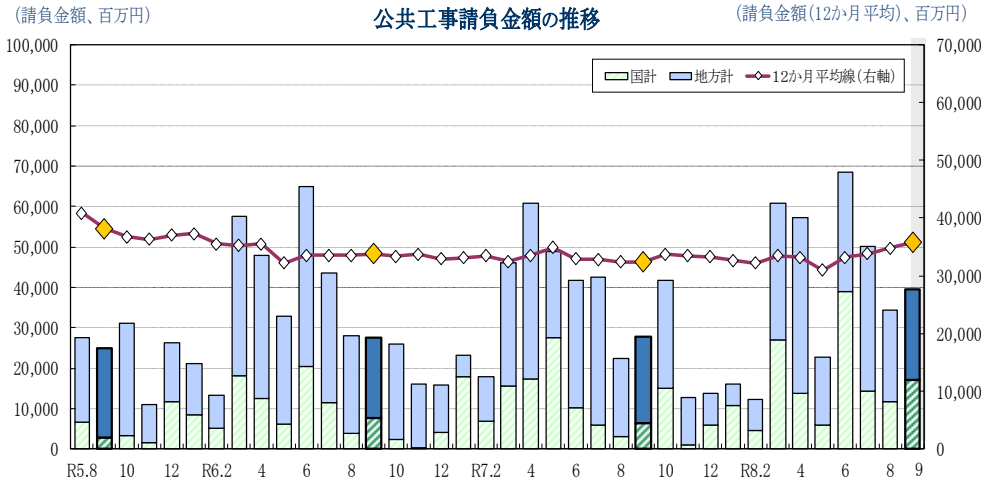

（資料 国土交通省）

**【新設住宅着工戸数】**

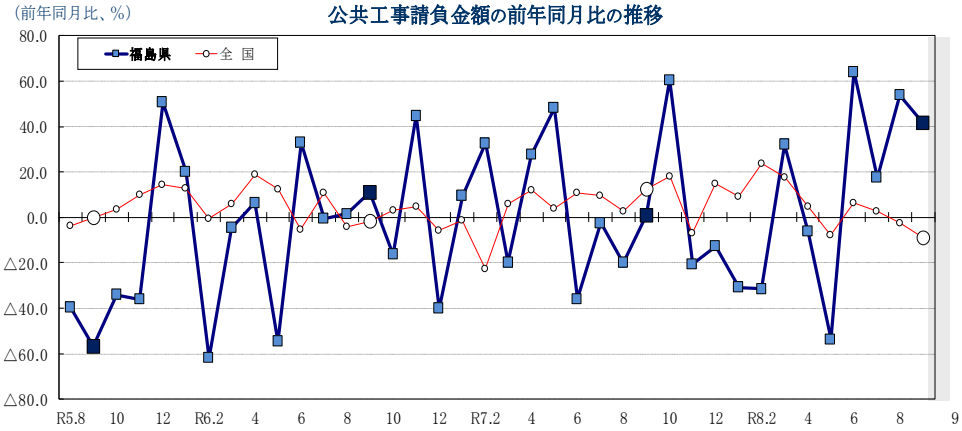
家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

公共工事請負金額(9月)は総額約394億円、対前年同月比41.6％増となり、4か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、国の機関は4か月連続で前年を上回り、地方の機関は2か月連続で前年を上回った。




（資料　東日本建設業保証株式会社）

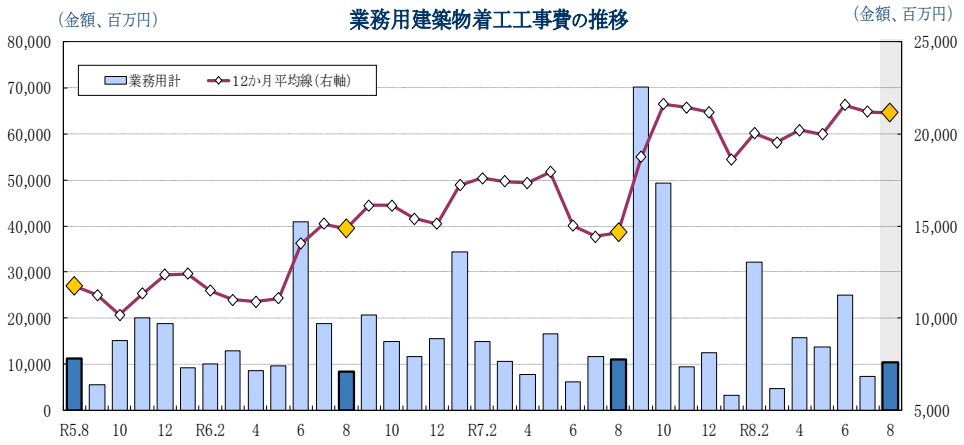



（資料　東日本建設業保証株式会社）

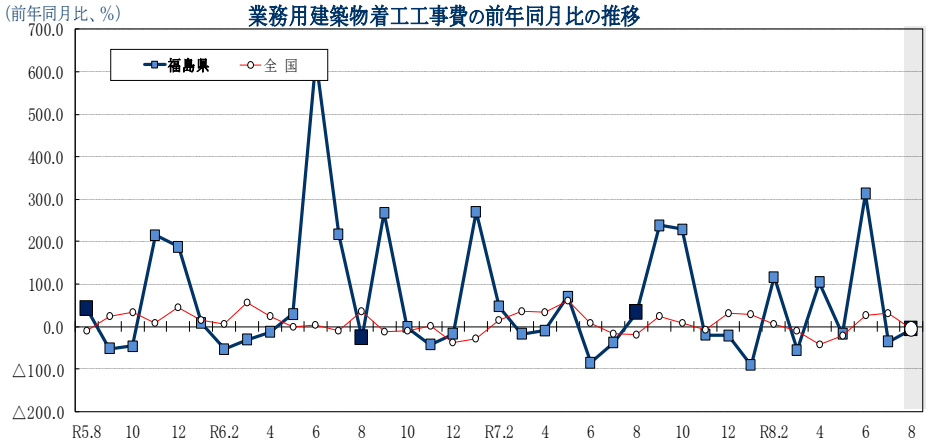
**【公共工事請負額】**

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

業務用建築物着工工事費(8月)は総額約104億円、対前年同月比6.2%減となり、2か月連続で前年を下回っている。




(資料 国土交通省)




(資料 国土交通省)

**【業務用建築予定金額】**

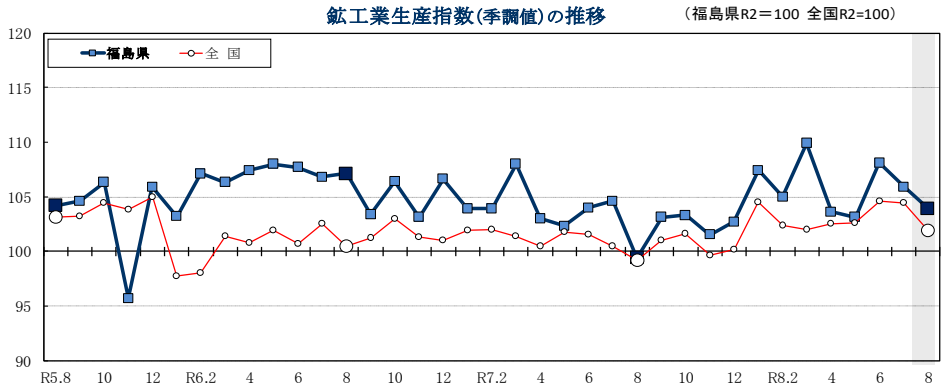
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならず、この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

## （3） 生産活動

鉱工業生産指数(8月)は季節調整済指数103.9(速報値)、対前月比1.9%減となり、2か月連続で前月を下回った。業種別にみると、19業種のうち、輸送機械工業、電気機械工業などの7業種で前月を上回ったものの、化学工業、情報通信機械工業などの12業種で前月を下回った。
なお、原指数は95.1(速報値)、対前年同月比4.5%増となり、3か月連続で前年を上回った。

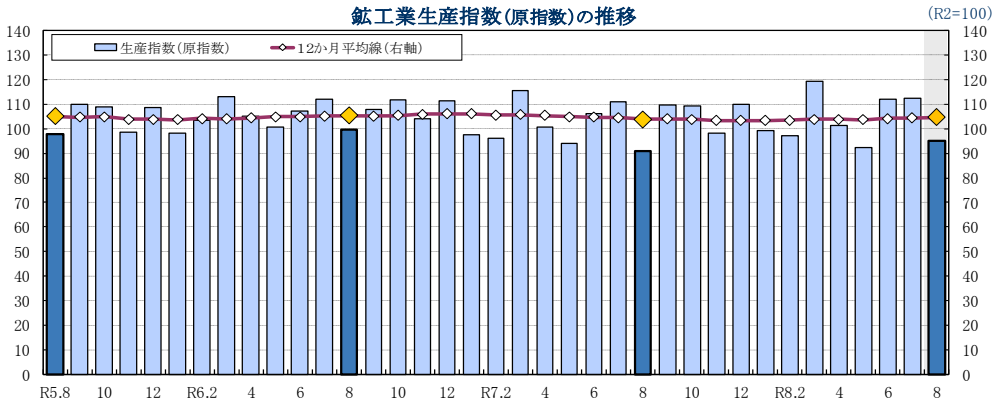
鉱工業出荷指数(8月)は季節調整済指数104.0(速報値)、対前月比0.1%減となり、2か月連続で前月を下回った。業種別にみると、19業種のうち、輸送機械工業、電気機械工業などの7業種で前月を上回ったが、化学工業、非鉄金属工業などの12業種で前月を下回った。
なお、原指数は92.8(速報値)、対前年同月比7.4%増となり、3か月連続で前年を上回った。

鉱工業在庫指数(8月)は季節調整済指数129.2(速報値)、対前月比2.5%増となり、2か月振りに前月を上回った。
なお、原指数は128.0(速報値)、対前年同月比3.8%減となり、6か月連続で前年を下回った。

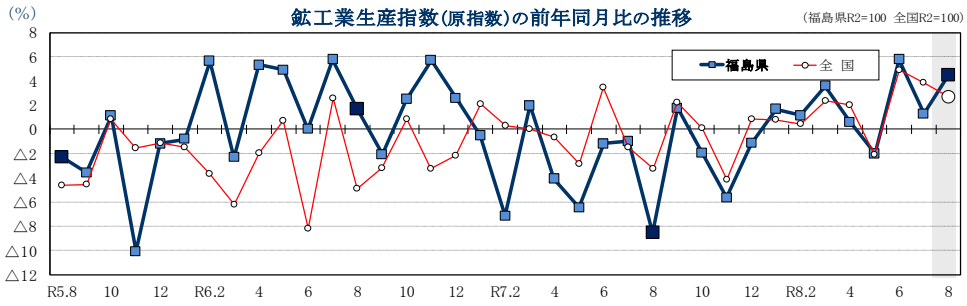



(資料 経済産業省、福島県統計課)

【鉱工業指数】
鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(令和2年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。




（資料　福島県統計課）




（資料　経済産業省、福島県統計課）

**【原指数と季節調整済指数】**

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

**【前月比と前年同月比】**

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向（瞬間風速）を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計（例：金利等）では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

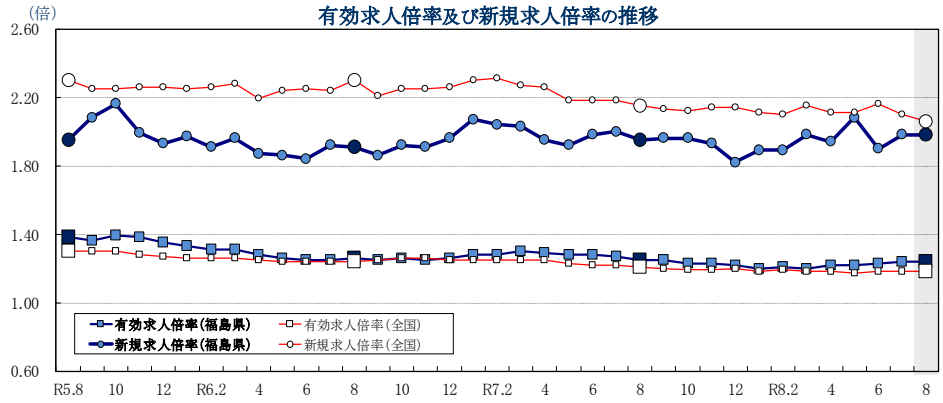
鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で直近の動きをみるというように複合的に利用します。

## (4) 雇用・労働

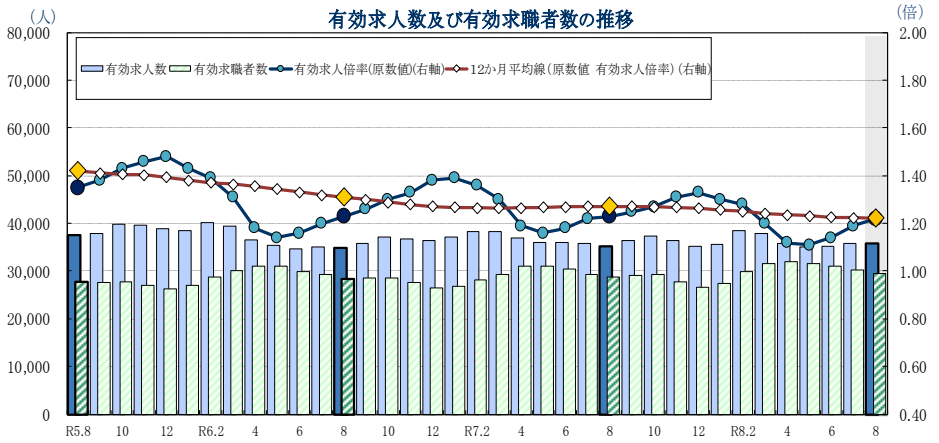
新規求人倍率(8月)は1.98倍(季節調整値)、前月と同水準となっている。

有効求人倍率(8月)は1.24倍(季節調整値)、前月と同水準となっている。

なお、有効求人数は35,824人(対前年同月比1.4%増)となり、2か月連続で前年を上回った。有効求職者数は29,451人(同2.7%増)となり、15か月連続で前年を上回った。




(資料 厚生労働省、厚生労働省「福島労働局」)

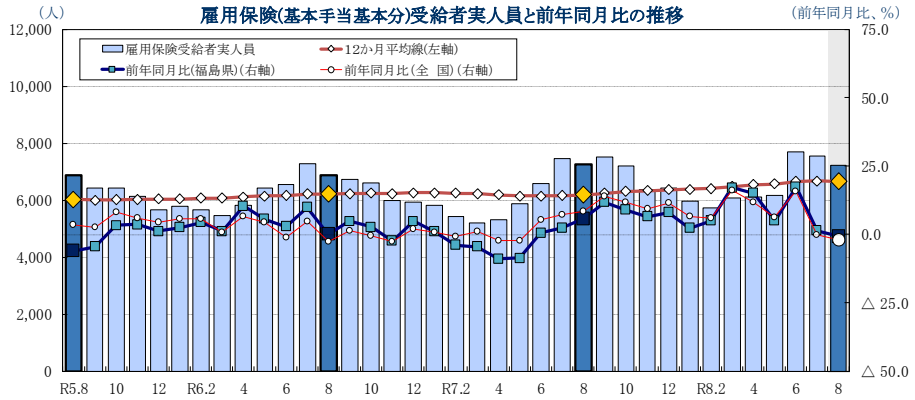



(資料 厚生労働省「福島労働局」)

**【新規求人倍率と有効求人倍率】**

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(8月)は7,214人、対前年同月比0.7%減となり、15か月振りに前年を下回っている。




(資料 厚生労働省、厚生労働省「福島労働局」)

**【雇用保険受給者実人員】**

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

現金給与総額指数(名目)(8月)は102.2(事業所規模5人以上)、対前年同月比7.1%増となり、9か月連続で前年を上回っている。

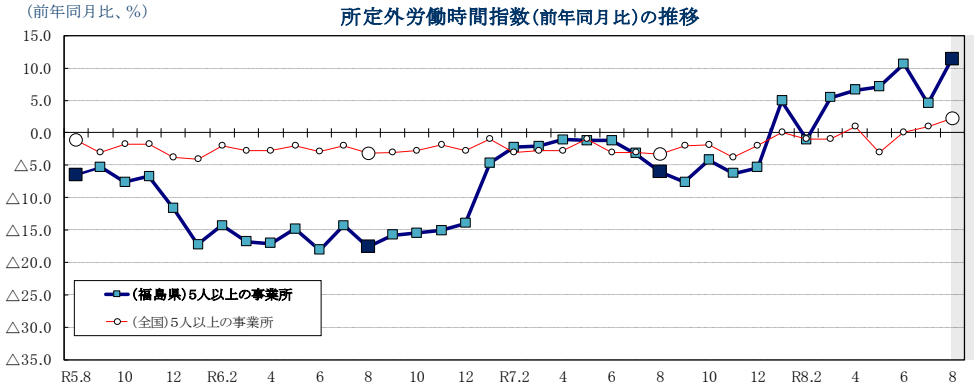



(資料 厚生労働省、福島県統計課)

**【現金給与総額指数】**

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払った給与すべてを合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみることが必要です。

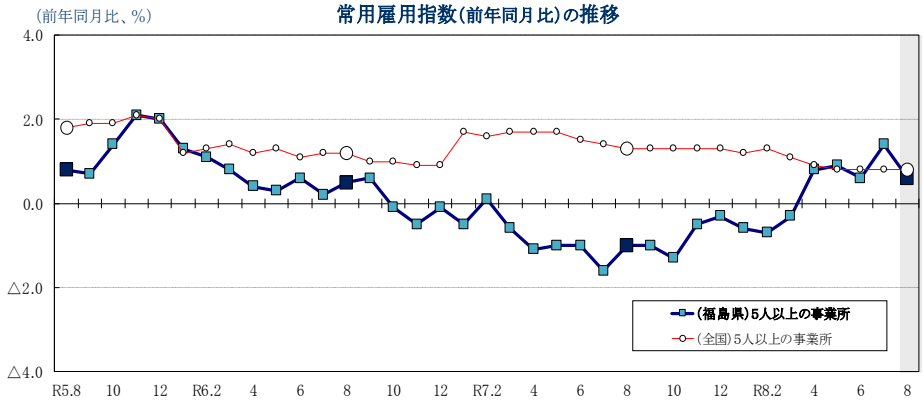
所定外労働時間指数(8月)は93.6、対前年同月比11.4%増となり、6か月連続で前年を上回っている。




(資料　厚生労働省、福島県統計課)

【所定外労働時間指数】
所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

常用雇用指数(8月)は100.3、対前年同月比0.6%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



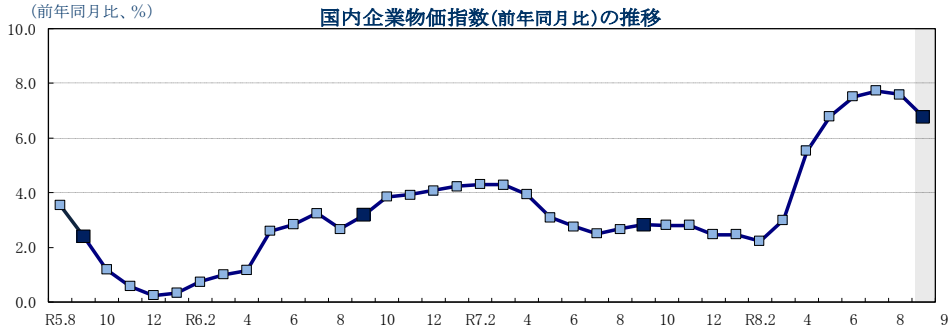

(資料　厚生労働省、福島県統計課)

【常用雇用指数】
常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含み、基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

< 毎月勤労統計(常用労働者)…次のいずれかに該当する者 >
① 期間を定めずに雇われている者　② 1か月以上の期間を定めて雇われている者
< 雇用保険の適用条件 >
①1週間の所定労働時間が20時間以上　②31日以上の雇用見込みがある

## （5） 物価

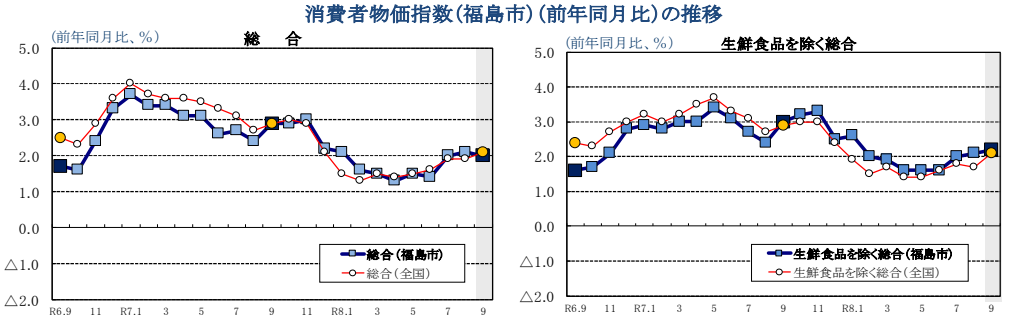
国内企業物価指数(9月)は135.7(速報値)、対前年同月比6.8%増となり、67か月連続で前年を上回っている。
なお、対前月比は0.3%減となっている。




(資料 日本銀行)

**【国内企業物価指数】**
出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

福島市消費者物価指数(総合)(9月)は102.3、対前年同月比2.0%増となり、59か月連続で前年を上回っている。なお、対前月比は0.2%増となっている。
生鮮食品を除く総合では102.5、対前年同月比は2.2%増となっている。
また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合では103.1、対前年同月比は2.4%増となっている。

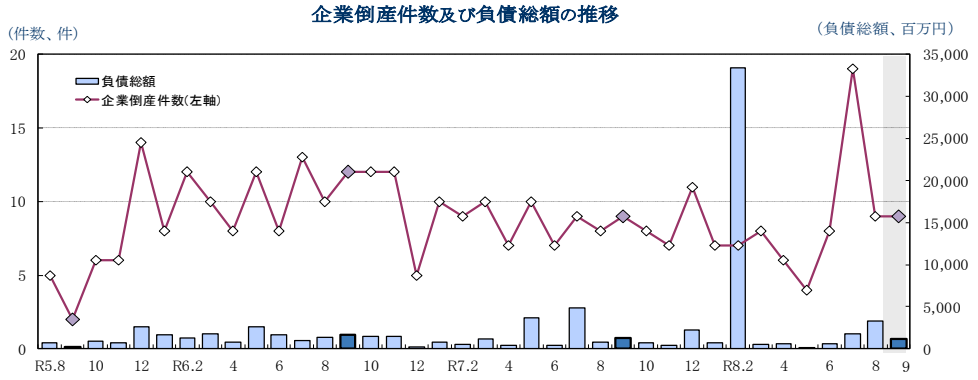



(資料 総務省統計局)

**【消費者物価指数】**
消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100(令和7年=100)とし、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向が見えにくくなるため「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすこともあります。

## （6） 企業・金融

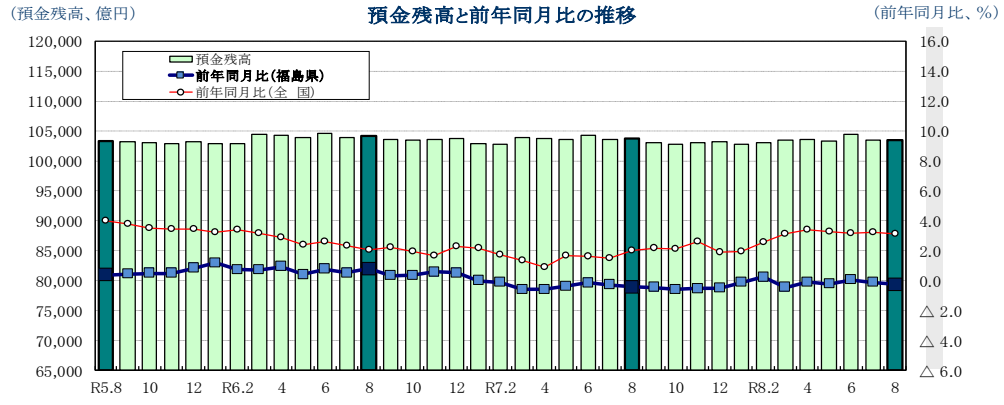
企業倒産(9月)は、件数が9件、前年と同数となった。また、負債総額は12億2,000万円、対前年同月比3.9%減となり、2か月振りに前年を下回った。
倒産件数を業種別にみると、製造業が5件、小売業が3件、サービス業他が1件となっている。




（資料 東京商工リサーチ）

**【企業倒産】**
法的な定義はなく、官庁統計に集計したものはありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理（破産や会社更生手続、民事再生手続等）」と「任意整理（銀行取引停止処分、内整理）」の大きく2つに分けることができます。

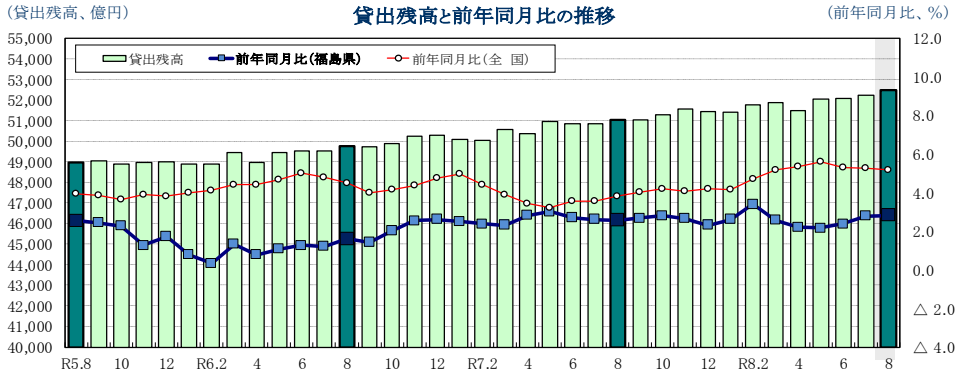
預金残高(8月)は総額10兆3,526億円、対前年同月比0.2%減となり、2か月連続で前年を下回った。




（資料 日本銀行、日本銀行福島支店）

**【預金残高】**
預金残高の増減は金融機関の信用力と関係し、経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金が流出します。法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します（増加する場合は、前文と逆のことが言えます）。

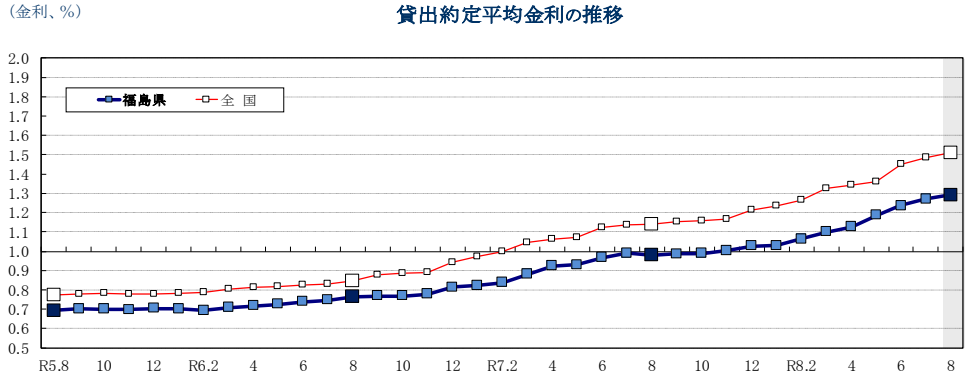
貸出残高(8月)は総額5兆2,474億円、対前年同月比2.8%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。




(資料 日本銀行、日本銀行福島支店)

【貸出残高】
景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

貸出約定平均金利(8月)は、1.293%、対前月差0.023ポイント上昇し、12か月連続で前月を上回った。

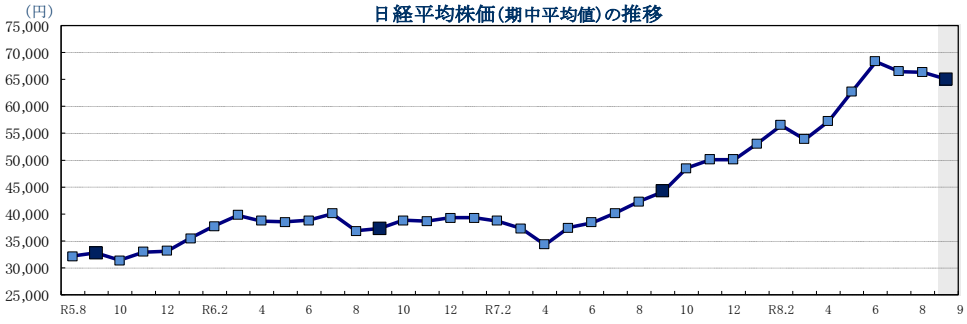



(資料 日本銀行、日本銀行福島支店)

【貸出約定平均金利】
金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したもので、銀行融資の金利を示す指標です。

## （7） 市場

日経平均株価(9月)は65,048円25銭（期中平均値）、前月より1,329円56銭安となり、3か月連続で前月を下回っている。

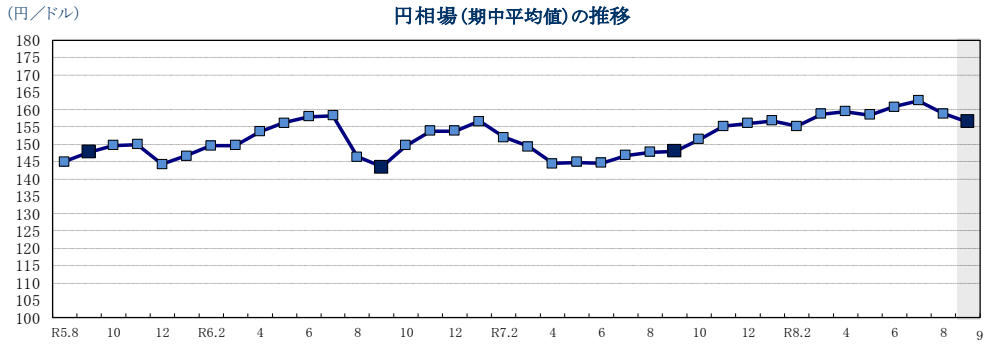



（資料　日経平均プロフィル）

**【日経平均株価】**

日本経済新聞社が東京証券取引所のプライム市場上場銘柄から市場流動性の高い銘柄を中心に選定した225銘柄（定期的に入れ替え）を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

円相場(9月)は156円41銭（期中平均値）、前月より2円34銭円高となっている。



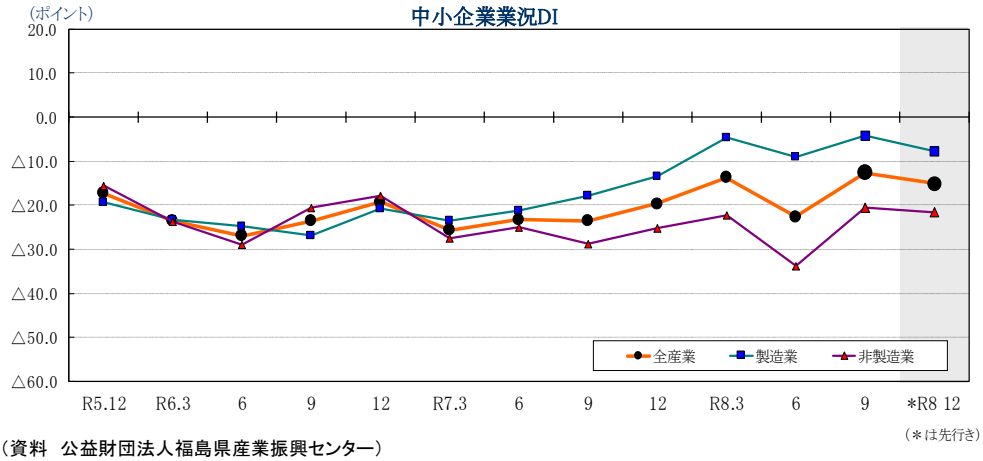

（資料　日本銀行）

**【円相場】**

円とドルの交換比率（対ドルの為替レート）です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がりします。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をしますし、「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となる。一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場は、日本経済全体に多大な影響を与えるため、政府・日銀が介入する場合もあります。

## （8） 中小企業の業況

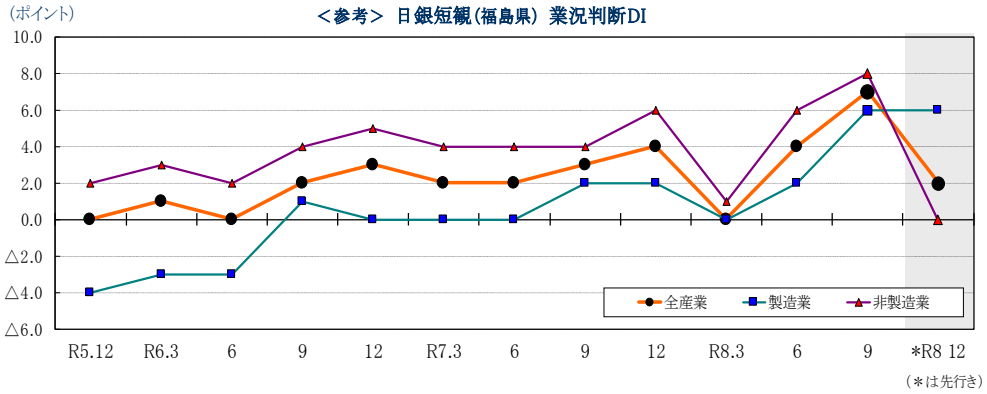
県内中小企業の業況感を表す業況DI(9月)はマイナス12.6ポイント、前回調査（6月）に比べると10.0ポイント改善している。産業別にみると、製造業は前回に比べ5.5ポイント改善、非製造業は13.1ポイント改善している。3か月先の見通しは、マイナス15.1ポイントとなり2.5ポイント悪化すると予測している。




（資料　公益財団法人福島県産業振興センター）

**【中小企業業況DI】**

（公財）福島県産業振興センターが四半期ごとに実施しているビジネス・サーベイです。当該業界に対する企業家の景況判断を示したものです。DI（Diffusion　Index）値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、「良い」と回答した企業の割合から、「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値です。




（資料　日本銀行福島支店）

**【参考：日銀短観】**

業況等の現状・先行きに関する判断や、事業計画に関する実績・予測など、企業活動全般に関する調査項目について、日本銀行が四半期ごとに実施するビジネス・サーベイです。調査対象は資本金2千万円以上であるため、いわゆる零細企業は対象にならない点に留意する必要があります。また、各支店（例：日銀福島支店）が公表する「支店短観」は、各地域の産業構造を反映するため、全国分の短観が調査・集計対象としていない先（大手企業の出先事務所等）も一部調査・集計対象としています。業況判断DIは業況（「収益を中心とした、業況についての全般的な判断」）が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値で、企業の収益性と相関があります。

# 3 主要経済指標

| 区分 | 個人消費 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 百貨店・スーパー販売額 | | | | 2 コンビニエンスストア販売額 | | 3 家電量販店販売額 | | 4 ドラッグストア販売額 | |
| 年月 | 福島県 全店舗 | 福島県 既存店 | 全国 全店舗 | 全国 既存店 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 |
| | (百万円) | (百万円) | (億円) | (億円) | (百万円) | (億円) | (百万円) | (億円) | (百万円) | (億円) |
| 令和5年 | 285,834 | － | 216,049 | － | 209,741 | 127,321 | 47,540 | 46,324 | 124,083 | 83,438 |
| 6年 | 284,862 | － | 223,812 | － | 209,491 | 128,887 | 46,402 | 47,288 | 132,974 | 89,199 |
| 7年 | 283,946 | － | 230,150 | － | 211,903 | 133,212 | 46,527 | 49,214 | 141,061 | 94,129 |
| 7年 Ⅱ | 69,450 | － | 55,342 | － | 52,754 | 33,214 | 10,594 | 11,536 | 35,100 | 23,403 |
| Ⅲ | 71,479 | － | 56,529 | － | 55,657 | 34,744 | 11,770 | 12,394 | 36,232 | 23,966 |
| Ⅳ | 73,927 | － | 62,526 | － | 53,379 | 33,915 | 11,527 | 12,728 | 35,910 | 24,465 |
| 8年 Ⅰ | 69,153 | － | 57,002 | － | 50,096 | 31,994 | 13,381 | 13,268 | 35,318 | 23,460 |
| Ⅱ | 71,520 | － | 56,653 | － | 52,424 | 33,482 | 11,530 | 12,692 | 36,748 | 24,522 |
| 7年 5月 | 23,572 | － | 18,495 | － | 17,861 | 11,223 | 3,305 | 3,697 | 11,514 | 7,792 |
| 6月 | 23,436 | － | 18,821 | － | 17,840 | 11,211 | 4,052 | 4,261 | 12,111 | 7,981 |
| 7月 | 23,796 | － | 19,259 | － | 19,020 | 11,900 | 4,273 | 4,320 | 12,366 | 8,241 |
| 8月 | 25,519 | － | 19,277 | － | 19,307 | 11,845 | 3,993 | 4,099 | 12,373 | 8,094 |
| 9月 | 22,165 | － | 17,993 | － | 17,330 | 11,000 | 3,504 | 3,975 | 11,493 | 7,631 |
| 10月 | 22,896 | － | 18,815 | － | 17,727 | 11,318 | 3,408 | 3,679 | 11,553 | 7,856 |
| 11月 | 22,907 | － | 19,903 | － | 17,277 | 10,941 | 3,647 | 4,122 | 11,911 | 7,955 |
| 12月 | 28,123 | － | 23,809 | － | 18,375 | 11,656 | 4,472 | 4,927 | 12,446 | 8,654 |
| 8年 1月 | 23,902 | － | 19,733 | － | 16,791 | 10,685 | 5,106 | 4,534 | 11,752 | 7,695 |
| 2月 | 21,303 | － | 17,645 | － | 15,687 | 10,014 | 3,493 | 3,719 | 11,343 | 7,440 |
| 3月 | 23,948 | － | 19,624 | － | 17,618 | 11,295 | 4,782 | 5,015 | 12,223 | 8,324 |
| 4月 | 22,237 | － | 18,455 | － | 16,893 | 10,861 | 3,612 | 4,011 | 12,243 | 8,134 |
| 5月 | 23,742 | － | 19,494 | － | 18,000 | 11,367 | 4,446 | 4,716 | 12,328 | 8,362 |
| 6月 | 22,434 | － | 18,704 | － | 17,531 | 11,255 | 3,472 | 3,966 | 12,177 | 8,026 |
| 7月 | 23,353 | － | 19,597 | － | 18,514 | 12,052 | 4,405 | 4,770 | 12,600 | 8,519 |
| 8月 | 25,064 | － | 19,519 | － | 18,857 | 11,917 | 3,913 | 4,151 | 12,791 | 8,343 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | 2.1 | 1.1 | 4.6 | 4.2 | 1.7 | 4.4 | △ 4.6 | △ 1.1 | 7.4 | 8.2 |
| 6年 | △ 0.3 | 1.9 | 3.6 | 3.4 | △ 0.1 | 1.2 | △ 2.4 | 2.1 | 7.2 | 6.9 |
| 7年 | △ 0.3 | 0.3 | 2.8 | 1.5 | 1.2 | 3.4 | 0.3 | 4.1 | 6.1 | 5.5 |
| 7年 Ⅱ | △ 0.2 | 1.1 | 1.8 | 0.6 | 1.4 | 4.2 | 3.2 | 3.8 | 6.5 | 6.6 |
| Ⅲ | 1.7 | 0.4 | 2.7 | 1.4 | 1.9 | 3.3 | △ 2.8 | 1.6 | 4.4 | 4.6 |
| Ⅳ | △ 0.8 | △ 0.7 | 3.6 | 1.9 | 0.7 | 3.0 | 1.2 | 5.6 | 6.5 | 5.2 |
| 8年 Ⅰ | 0.1 | 0.1 | 2.2 | 1.7 | 0.0 | 2.1 | 5.9 | 5.7 | 4.4 | 5.2 |
| Ⅱ | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 2.0 | △ 0.6 | 0.8 | 8.8 | 10.0 | 4.7 | 4.8 |
| 7年 5月 | △ 0.9 | 1.1 | 1.8 | 0.6 | 1.4 | 4.2 | 3.2 | 4.7 | 6.1 | 6.5 |
| 6月 | 2.5 | 1.5 | 1.0 | △ 0.1 | 2.6 | 5.1 | 6.1 | 5.6 | 6.8 | 6.5 |
| 7月 | 2.7 | 1.7 | 1.6 | 0.4 | 2.5 | 3.6 | △ 1.1 | △ 4.8 | 6.9 | 5.7 |
| 8月 | 2.3 | 0.8 | 3.3 | 1.8 | 2.1 | 3.3 | △ 3.3 | 5.4 | 4.6 | 3.4 |
| 9月 | △ 0.1 | △ 1.5 | 3.4 | 1.9 | 0.9 | 3.0 | △ 4.3 | 5.4 | 1.7 | 4.7 |
| 10月 | 1.0 | 0.1 | 5.1 | 3.4 | △ 0.1 | 2.6 | 7.6 | 11.0 | 6.7 | 5.9 |
| 11月 | 0.0 | 0.5 | 4.9 | 3.2 | 1.9 | 3.9 | 2.2 | 7.6 | 8.8 | 7.9 |
| 12月 | △ 2.8 | △ 2.3 | 1.4 | △ 0.1 | 0.5 | 2.5 | △ 4.0 | 0.4 | 4.2 | 2.3 |
| 8年 1月 | 2.0 | 1.8 | 3.1 | 2.6 | △ 0.2 | 1.8 | 8.5 | 9.6 | 2.6 | 4.3 |
| 2月 | △ 0.1 | △ 0.7 | 2.1 | 1.4 | △ 0.2 | 2.2 | 3.0 | 2.9 | 5.3 | 5.6 |
| 3月 | △ 1.6 | △ 0.7 | 1.5 | 1.1 | 0.3 | 2.3 | 5.4 | 4.4 | 5.5 | 5.8 |
| 4月 | △ 0.9 | 0.9 | 2.4 | 2.0 | △ 0.9 | 0.8 | 11.6 | 12.1 | 6.7 | 6.6 |
| 5月 | 0.7 | 2.6 | 5.4 | 5.0 | 0.8 | 1.3 | 34.5 | 27.5 | 7.1 | 7.3 |
| 6月 | △ 4.3 | △ 3.4 | △ 0.6 | △ 1.0 | △ 1.7 | 0.4 | △ 14.3 | △ 6.9 | 0.5 | 0.6 |
| 7月 | △ 1.9 | △ 2.3 | 1.8 | 1.4 | △ 2.7 | 1.3 | 3.1 | 10.4 | 1.9 | 3.4 |
| 8月 | △ 1.8 | △ 1.4 | 1.3 | 0.9 | △ 2.3 | 0.6 | △ 2.0 | 1.3 | 3.4 | 3.1 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | |
|---|---|
| 備考 | 旧大型小売店販売額 |
| 資料出所 | 経済産業省「商業動態統計」 |

※四半期値のⅠ期は1～3月期、Ⅱ期は4～6月期、Ⅲ期は7～9月期、Ⅳ期は10～12月期を表す。

※令和2年3月分から調査対象事務所の見直しを行ったため、令和2年2月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じています。
前年(同期、同月)比は、ギャップ調整のためリンク係数で処理した数値で計算しています。

| 区分 | 個人消費 | | | | 建設需要 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5 ホームセンター販売額 | | 6 乗用車新規登録台数 | | 7 新設住宅着工戸数 | | 8 公共工事請負金額 | | 9業務用建築物着工工事費 | |
| 年月 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 |
| | (百万円) | (億円) | (台) | (千台) | (戸) | (戸) | (百万円) | (億円) | (百万円) | (億円) |
| 令和5年 | 69,318 | 33,411 | 60,987 | 3,988 | 8,444 | 819,633 | 423,219 | 147,405 | 148,349 | 107,032 |
| 6年 | 66,571 | 33,988 | 55,313 | 3,721 | 7,517 | 792,195 | 389,695 | 152,054 | 181,499 | 110,317 |
| 7年 | 65,347 | 33,917 | 56,817 | 3,830 | 6,880 | 740,667 | 401,575 | 168,495 | 254,134 | 122,802 |
| 7年 Ⅱ | 17,901 | 9,052 | 12,976 | 885 | 1,451 | 155,381 | 151,418 | 62,850 | 30,439 | 37,752 |
| Ⅲ | 15,783 | 8,432 | 13,906 | 932 | 1,665 | 185,254 | 92,775 | 42,109 | 92,784 | 26,869 |
| Ⅳ | 17,079 | 8,916 | 13,366 | 912 | 1,918 | 193,513 | 68,162 | 28,578 | 71,144 | 28,552 |
| 8年 Ⅰ | 14,167 | 7,623 | 15,606 | 1,042 | 1,462 | 177,023 | 89,215 | 34,957 | 40,137 | 31,050 |
| Ⅱ | 17,556 | 9,261 | 14,147 | 951 | 1,958 | 186,790 | 148,303 | 64,036 | 54,628 | 30,860 |
| 7年 5月 | 6,068 | 3,089 | 4,017 | 269 | 425 | 43,237 | 48,810 | 16,541 | 16,629 | 11,605 |
| 6月 | 5,818 | 2,955 | 4,834 | 329 | 567 | 55,956 | 41,683 | 19,055 | 6,052 | 9,035 |
| 7月 | 5,701 | 3,006 | 4,909 | 326 | 528 | 61,409 | 42,586 | 16,765 | 11,603 | 7,059 |
| 8月 | 5,477 | 2,880 | 3,633 | 249 | 567 | 60,275 | 22,392 | 10,996 | 11,071 | 8,728 |
| 9月 | 4,605 | 2,546 | 5,364 | 357 | 570 | 63,570 | 27,797 | 14,348 | 70,110 | 11,081 |
| 10月 | 5,223 | 2,716 | 4,964 | 328 | 740 | 71,871 | 41,770 | 13,327 | 49,359 | 11,096 |
| 11月 | 5,397 | 2,862 | 4,470 | 307 | 657 | 59,524 | 12,701 | 7,452 | 9,361 | 8,051 |
| 12月 | 6,459 | 3,338 | 3,932 | 278 | 521 | 62,118 | 13,691 | 7,799 | 12,423 | 9,404 |
| 8年 1月 | 4,689 | 2,498 | 4,357 | 307 | 481 | 55,898 | 16,114 | 6,180 | 3,214 | 9,224 |
| 2月 | 4,046 | 2,257 | 4,689 | 328 | 474 | 57,630 | 12,198 | 8,547 | 32,218 | 9,862 |
| 3月 | 5,432 | 2,868 | 6,560 | 407 | 507 | 63,495 | 60,903 | 20,231 | 4,704 | 11,964 |
| 4月 | 6,146 | 3,145 | 4,668 | 315 | 703 | 62,569 | 57,237 | 28,541 | 15,811 | 10,097 |
| 5月 | 6,288 | 3,367 | 4,195 | 277 | 431 | 57,877 | 22,627 | 15,260 | 13,821 | 9,220 |
| 6月 | 5,122 | 2,748 | 5,284 | 360 | 824 | 66,344 | 68,439 | 20,235 | 24,996 | 11,542 |
| 7月 | 5,392 | 3,036 | 5,161 | 351 | 465 | 66,439 | 50,029 | 17,205 | 7,434 | 9,330 |
| 8月 | 5,400 | 2,918 | 3,819 | 253 | 647 | 63,974 | 34,441 | 10,737 | 10,383 | 8,288 |
| 9月 | － | － | 5,140 | 360 | － | － | 39,368 | 13,087 | － | － |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | 対前年同月(期)比(%) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | △ 3.7 | 0.0 | 15.5 | 15.8 | △ 9.5 | △ 4.6 | △ 16.6 | 5.3 | 5.7 | 5.3 |
| 6年 | △ 4.0 | 1.7 | △ 9.3 | 0.0 | △ 11.0 | △ 3.3 | △ 7.9 | 3.2 | 22.3 | 3.1 |
| 7年 | △ 1.8 | △ 0.2 | 2.7 | 0.0 | △ 8.5 | △ 6.5 | 3.0 | 10.8 | 40.0 | 11.3 |
| 7年 Ⅱ | △ 1.3 | 0.8 | 5.7 | 6.5 | △ 35.1 | △ 25.6 | 3.9 | 9.5 | △ 48.7 | 27.4 |
| Ⅲ | △ 1.7 | △ 1.6 | △ 4.6 | △ 4.5 | △ 23.2 | △ 8.9 | △ 6.4 | 8.6 | 93.8 | △ 28.8 |
| Ⅳ | △ 2.1 | △ 0.6 | △ 3.0 | △ 3.7 | 22.6 | △ 2.1 | 18.1 | 9.6 | 68.8 | 6.3 |
| 8年 Ⅰ | △ 2.9 | 1.4 | △ 5.8 | △ 5.4 | △ 20.8 | △ 14.3 | 2.4 | 17.3 | △ 32.8 | 8.8 |
| Ⅱ | △ 1.9 | 2.3 | 9.0 | 7.5 | 34.9 | 20.2 | △ 2.1 | 1.9 | 79.5 | △ 0.6 |
| 7年 5月 | △ 0.9 | 0.6 | 4.6 | 3.1 | △ 35.7 | △ 34.4 | 48.1 | 4.0 | 71.1 | 60.6 |
| 6月 | 0.7 | 2.3 | 6.8 | 5.5 | △ 27.2 | △ 15.6 | △ 35.9 | 10.8 | △ 85.2 | 7.6 |
| 7月 | 0.9 | 1.0 | △ 2.5 | △ 3.8 | △ 38.7 | △ 9.7 | △ 2.3 | 9.5 | △ 38.4 | △ 17.5 |
| 8月 | △ 2.4 | △ 3.5 | △ 7.3 | △ 8.2 | 3.7 | △ 9.8 | △ 19.9 | 2.7 | 33.1 | △ 18.0 |
| 9月 | △ 4.0 | △ 2.3 | △ 4.7 | △ 2.5 | △ 25.1 | △ 7.3 | 0.7 | 12.5 | 238.2 | 25.1 |
| 10月 | 0.2 | 0.2 | △ 1.0 | △ 2.9 | 117.0 | 3.2 | 60.4 | 18.1 | 229.0 | 7.4 |
| 11月 | △ 1.6 | 1.0 | △ 10.8 | △ 7.0 | 22.6 | △ 8.5 | △ 20.5 | △ 6.8 | △ 19.2 | △ 6.9 |
| 12月 | △ 4.2 | △ 2.6 | 4.8 | △ 0.9 | △ 24.3 | △ 1.3 | △ 12.8 | 14.9 | △ 20.2 | 31.9 |
| 8年 1月 | △ 1.3 | 1.6 | △ 7.0 | △ 6.2 | 20.3 | △ 0.4 | △ 30.8 | 9.1 | △ 90.6 | 29.1 |
| 2月 | △ 7.0 | △ 1.2 | △ 5.2 | △ 7.4 | △ 5.4 | △ 4.9 | △ 31.3 | 23.6 | 116.6 | 6.7 |
| 3月 | △ 0.9 | 3.4 | △ 5.5 | △ 3.2 | △ 46.3 | △ 29.3 | 32.1 | 17.5 | △ 55.6 | △ 9.6 |
| 4月 | 2.2 | 4.6 | 13.2 | 9.7 | 53.2 | 11.4 | △ 6.1 | 4.7 | 103.8 | △ 41.0 |
| 5月 | 3.6 | 9.0 | 4.4 | 2.8 | 1.4 | 33.9 | △ 53.6 | △ 7.7 | △ 16.9 | △ 20.6 |
| 6月 | △ 12.0 | △ 7.0 | 9.3 | 9.5 | 45.3 | 18.6 | 64.2 | 6.2 | 313.0 | 27.8 |
| 7月 | △ 5.4 | 1.0 | 5.1 | 7.8 | △ 11.9 | 8.2 | 17.5 | 2.6 | △ 35.9 | 32.2 |
| 8月 | △ 1.4 | 1.3 | 5.1 | 1.5 | 14.1 | 6.1 | 53.8 | △ 2.4 | △ 6.2 | △ 5.0 |
| 9月 | － | － | △ 4.2 | 1.0 | － | － | 41.6 | △ 8.8 | － | － |
| 備考 | | | 乗用車、軽自動車の計 | | 持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計 | | 年表示は、年度ベース<br>国の機関と地方の機関の計 | | 全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの | |
| 資料出所 | 経済産業省「商業動態統計」 | | 東北運輸局<br>全国軽自動車販売連合会 資料 | | 国土交通省「住宅着工統計」 | | 東日本建設保証㈱「公共工事前払金保証統計」 | | 国土交通省「建築着工統計」 | |

| 区分 | 生産活動 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 10 鉱工業生産指数 | | | | 11 鉱工業出荷指数 | | | | 12 鉱工業在庫指数 | | | |
| 年月 | 福島県 季調値 | 全国 季調値 | 福島県 原指数 | 全 国 原指数 | 福島県 季調値 | 全国 季調値 | 福島県 原指数 | 全 国 原指数 | 福島県 季調値 | 全国 季調値 | 福島県 原指数 | 全 国 原指数 |
| 令和5年 | － | － | 103.8 | 103.9 | － | － | 109.0 | 103.2 | － | － | 128.8 | 104.1 |
| 6年 | － | － | 106.2 | 101.2 | － | － | 114.2 | 99.9 | － | － | 131.9 | 102.2 |
| 7年 | － | － | 103.3 | 100.9 | － | － | 103.3 | 99.5 | － | － | 131.4 | 100.2 |
| 7年 Ⅱ | 103.1 | 101.3 | 100.3 | 99.0 | 105.4 | 100.0 | 101.4 | 97.0 | 131.7 | 100.3 | 130.2 | 100.3 |
| Ⅲ | 102.4 | 100.2 | 103.9 | 100.2 | 101.3 | 99.1 | 101.7 | 98.7 | 133.4 | 99.8 | 132.7 | 100.4 |
| Ⅳ | 102.5 | 100.5 | 106.0 | 103.8 | 101.9 | 99.5 | 105.7 | 102.8 | 133.6 | 98.8 | 134.5 | 98.6 |
| 8年 Ⅰ | 107.4 | 103.0 | 105.3 | 101.8 | 107.1 | 100.8 | 107.2 | 100.6 | 130.7 | 97.4 | 132.1 | 97.0 |
| Ⅱ | 104.9 | 103.2 | 101.9 | 100.7 | 104.0 | 101.3 | 99.8 | 98.0 | 126.9 | 96.2 | 125.4 | 96.2 |
| 7年 5月 | 102.3 | 101.8 | 94.1 | 94.5 | 104.5 | 100.4 | 94.5 | 92.1 | 130.7 | 100.0 | 128.6 | 101.0 |
| 6月 | 104.0 | 101.5 | 106.1 | 102.7 | 107.6 | 100.3 | 106.9 | 101.3 | 131.8 | 99.7 | 131.6 | 100.4 |
| 7月 | 104.6 | 100.5 | 111.1 | 106.2 | 103.2 | 98.8 | 109.2 | 103.6 | 132.1 | 100.1 | 130.1 | 102.0 |
| 8月 | 99.4 | 99.2 | 91.0 | 88.4 | 96.8 | 98.9 | 86.4 | 88.0 | 134.2 | 99.5 | 133.0 | 100.1 |
| 9月 | 103.1 | 101.0 | 109.7 | 105.9 | 103.9 | 99.6 | 109.5 | 104.5 | 133.9 | 99.8 | 135.1 | 99.2 |
| 10月 | 103.3 | 101.6 | 109.5 | 107.3 | 102.4 | 100.5 | 108.2 | 105.5 | 133.4 | 99.9 | 134.7 | 100.8 |
| 11月 | 101.5 | 99.6 | 98.4 | 99.1 | 101.1 | 99.5 | 98.7 | 98.4 | 134.4 | 98.0 | 135.1 | 99.0 |
| 12月 | 102.7 | 100.2 | 110.0 | 105.0 | 102.3 | 98.4 | 110.1 | 104.5 | 133.0 | 98.6 | 133.7 | 96.0 |
| 8年 1月 | 107.4 | 104.5 | 99.2 | 95.0 | 104.9 | 102.1 | 98.3 | 93.3 | 132.4 | 97.8 | 134.6 | 98.6 |
| 2月 | 105.0 | 102.4 | 97.1 | 97.9 | 107.3 | 100.6 | 101.0 | 96.8 | 130.5 | 98.1 | 131.2 | 98.5 |
| 3月 | 109.9 | 102.0 | 119.5 | 112.6 | 109.0 | 99.7 | 122.2 | 111.6 | 129.2 | 96.3 | 130.4 | 93.8 |
| 4月 | 103.6 | 102.5 | 101.3 | 101.8 | 103.5 | 101.0 | 102.2 | 99.5 | 127.1 | 96.0 | 124.8 | 94.5 |
| 5月 | 103.1 | 102.6 | 92.2 | 92.5 | 102.4 | 101.5 | 89.4 | 90.3 | 126.4 | 94.9 | 124.4 | 95.9 |
| 6月 | 108.1 | 104.6 | 112.2 | 107.7 | 106.2 | 101.3 | 107.8 | 104.2 | 127.2 | 97.6 | 127.0 | 98.2 |
| 7月 | 105.9 | 104.4 | 112.5 | 110.3 | 104.1 | 103.4 | 110.1 | 108.4 | 126.1 | 98.1 | 124.2 | 100.0 |
| 8月 | 103.9 | 101.9 | 95.1 | 90.8 | 104.0 | 100.4 | 92.8 | 89.3 | 129.2 | 97.5 | 128.0 | 98.1 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | 対前月（期）比 | | 対前年同月（期）比（%） | | 対前月（期）比 | | 対前年同月（期）比（%） | | 対前月（期）比 | | 対前年同月（期）比（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | － | － | △ 0.3 | △ 1.3 | － | － | 1.3 | △ 0.7 | － | － | 20.1 | 2.9 |
| 6年 | － | － | 2.3 | △ 2.6 | － | － | 4.8 | △ 3.2 | － | － | 2.4 | △ 1.8 |
| 7年 | － | － | △ 2.7 | △ 0.3 | － | － | △ 9.5 | △ 0.4 | － | － | △ 0.4 | △ 2.0 |
| 7年 Ⅱ | △ 2.1 | △ 0.5 | △ 3.8 | 0.0 | 0.9 | 0.3 | △ 9.0 | △ 0.3 | 3.8 | △ 1.5 | 0.1 | △ 2.4 |
| Ⅲ | △ 0.7 | △ 1.1 | △ 2.4 | △ 0.7 | △ 3.9 | △ 0.9 | △ 10.1 | △ 1.1 | 1.3 | △ 0.5 | 2.2 | △ 2.5 |
| Ⅳ | 0.1 | 0.3 | △ 2.8 | △ 1.0 | 0.6 | 0.4 | △ 9.4 | △ 0.8 | 0.1 | △ 1.0 | 2.4 | △ 3.0 |
| 8年 Ⅰ | 4.8 | 2.5 | 2.2 | 1.2 | 5.1 | 1.3 | 2.7 | 1.2 | △ 2.2 | △ 1.4 | 3.0 | △ 4.2 |
| Ⅱ | △ 2.3 | 0.2 | 1.6 | 1.7 | △ 2.9 | 0.5 | △ 1.6 | 1.0 | △ 2.9 | △ 1.2 | △ 3.7 | △ 4.1 |
| 7年 5月 | △ 0.7 | 1.3 | △ 6.5 | △ 2.9 | 0.4 | 1.2 | △ 12.4 | △ 3.0 | △ 1.5 | △ 1.1 | 0.7 | △ 3.0 |
| 6月 | 1.7 | △ 0.3 | △ 1.2 | 3.4 | 3.0 | △ 0.1 | △ 4.6 | 2.9 | 0.8 | △ 0.3 | 0.6 | △ 3.0 |
| 7月 | 0.6 | △ 1.0 | △ 1.0 | △ 1.5 | △ 4.1 | △ 1.5 | △ 11.2 | △ 2.5 | 0.2 | 0.4 | 1.4 | △ 2.3 |
| 8月 | △ 5.0 | △ 1.3 | △ 8.5 | △ 3.3 | △ 6.2 | 0.1 | △ 16.0 | △ 2.5 | 1.6 | △ 0.6 | 2.9 | △ 2.9 |
| 9月 | 3.7 | 1.8 | 1.8 | 2.2 | 7.3 | 0.7 | △ 3.4 | 1.6 | △ 0.2 | 0.3 | 2.2 | △ 2.3 |
| 10月 | 0.2 | 0.6 | △ 2.0 | 0.1 | △ 1.4 | 0.9 | △ 8.9 | 0.2 | △ 0.4 | 0.1 | 2.3 | △ 1.9 |
| 11月 | △ 1.7 | △ 2.0 | △ 5.7 | △ 4.2 | △ 1.3 | △ 1.0 | △ 12.3 | △ 3.0 | 0.7 | △ 1.9 | 2.3 | △ 4.1 |
| 12月 | 1.2 | 0.6 | △ 1.2 | 0.9 | 1.2 | △ 1.1 | △ 7.3 | 0.3 | △ 1.0 | 0.6 | 2.7 | △ 2.8 |
| 8年 1月 | 4.6 | 4.3 | 1.6 | 0.7 | 2.5 | 3.8 | △ 2.4 | 1.2 | △ 0.5 | △ 0.8 | 8.1 | △ 4.3 |
| 2月 | △ 2.2 | △ 2.0 | 1.1 | 0.4 | 2.3 | △ 1.5 | 3.0 | △ 0.1 | △ 1.4 | 0.3 | 2.0 | △ 3.4 |
| 3月 | 4.7 | △ 0.4 | 3.6 | 2.4 | 1.6 | △ 0.9 | 6.9 | 2.2 | △ 1.0 | △ 1.8 | △ 0.9 | △ 5.3 |
| 4月 | △ 5.7 | 0.5 | 0.6 | 2.0 | △ 5.0 | 1.3 | △ 0.6 | 1.8 | △ 1.6 | △ 0.3 | △ 4.2 | △ 5.0 |
| 5月 | △ 0.5 | 0.1 | △ 2.0 | △ 2.1 | △ 1.1 | 0.5 | △ 5.4 | △ 2.0 | △ 0.6 | △ 1.1 | △ 3.3 | △ 5.0 |
| 6月 | 4.8 | 1.9 | 5.7 | 4.9 | 3.7 | △ 0.2 | 0.8 | 2.9 | 0.6 | 2.8 | △ 3.5 | △ 2.2 |
| 7月 | △ 2.0 | △ 0.2 | 1.3 | 3.9 | △ 2.0 | 2.1 | 0.8 | 4.6 | △ 0.9 | 0.5 | △ 4.5 | △ 2.0 |
| 8月 | △ 1.9 | △ 2.4 | 4.5 | 2.7 | △ 0.1 | △ 2.9 | 7.4 | 1.5 | 2.5 | △ 0.6 | △ 3.8 | △ 2.0 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 備考 | 福島県：令和2年＝100<br>全国：令和2年＝100 | 福島県：令和2年＝100<br>全国：令和2年＝100 | 福島県：令和2年＝100<br>全国：令和2年＝100 |
| 資料出所 | 福島県統計課「福島県鉱工業指数月報」<br>経済産業省「鉱工業指数」 | | |

| 区分 | 雇用・労働 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 13 新規求人倍率 | | 14 有効求人倍率 | | 15 有効求人数 | | 16 有効求職者数 | | 17 雇用保険受給者実人員 | |
| 年月 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 |
| | (倍) | (倍) | (倍) | (倍) | (人) | (千人) | (人) | (千人) | (人) | (千人) |
| 令和5年 | 2.03 | 2.29 | 1.39 | 1.31 | 39,492 | 2,497 | 28,326 | 1,910 | 6,031 | 419,555 |
| 6年 | 1.92 | 2.25 | 1.27 | 1.25 | 36,733 | 2,414 | 28,887 | 1,930 | 6,257 | 427,061 |
| 7年 | 1.98 | 2.20 | 1.26 | 1.22 | 36,611 | 2,330 | 28,972 | 1,907 | 6,366 | 450,867 |
| 7年 Ⅱ | 1.95 | 2.21 | 1.28 | 1.23 | 36,289 | 2,323 | 30,816 | 2,010 | 5,913 | 420,039 |
| Ⅲ | 1.97 | 2.15 | 1.26 | 1.21 | 35,890 | 2,276 | 29,061 | 1,917 | 7,407 | 518,708 |
| Ⅳ | 1.90 | 2.13 | 1.23 | 1.19 | 36,353 | 2,278 | 27,916 | 1,845 | 6,659 | 471,761 |
| 8年 Ⅰ | 1.92 | 2.12 | 1.20 | 1.18 | 37,319 | 2,315 | 29,640 | 1,857 | 5,912 | 429,753 |
| Ⅱ | 1.97 | 2.13 | 1.22 | 1.18 | 35,376 | 2,222 | 31,503 | 2,015 | 6,652 | 467,313 |
| 7年 5月 | 1.92 | 2.18 | 1.28 | 1.23 | 35,996 | 2,314 | 31,010 | 2,028 | 5,877 | 421,185 |
| 6月 | 1.98 | 2.18 | 1.28 | 1.22 | 35,993 | 2,291 | 30,390 | 2,003 | 6,562 | 455,786 |
| 7月 | 2.00 | 2.18 | 1.27 | 1.22 | 35,844 | 2,300 | 29,388 | 1,944 | 7,443 | 521,837 |
| 8月 | 1.95 | 2.15 | 1.25 | 1.21 | 35,340 | 2,252 | 28,668 | 1,901 | 7,264 | 511,692 |
| 9月 | 1.96 | 2.13 | 1.25 | 1.20 | 36,485 | 2,278 | 29,126 | 1,906 | 7,513 | 522,596 |
| 10月 | 1.96 | 2.12 | 1.23 | 1.19 | 37,358 | 2,310 | 29,350 | 1,922 | 7,189 | 502,869 |
| 11月 | 1.93 | 2.14 | 1.23 | 1.19 | 36,410 | 2,260 | 27,783 | 1,842 | 6,373 | 452,954 |
| 12月 | 1.82 | 2.14 | 1.22 | 1.20 | 35,290 | 2,265 | 26,614 | 1,769 | 6,414 | 459,460 |
| 8年 1月 | 1.89 | 2.11 | 1.20 | 1.18 | 35,659 | 2,294 | 27,464 | 1,810 | 5,947 | 436,434 |
| 2月 | 1.89 | 2.10 | 1.21 | 1.19 | 38,442 | 2,331 | 29,925 | 1,854 | 5,706 | 412,289 |
| 3月 | 1.98 | 2.15 | 1.20 | 1.18 | 37,855 | 2,320 | 31,532 | 1,909 | 6,084 | 440,537 |
| 4月 | 1.94 | 2.11 | 1.22 | 1.18 | 35,806 | 2,245 | 31,960 | 2,009 | 6,096 | 427,673 |
| 5月 | 2.08 | 2.11 | 1.22 | 1.17 | 34,990 | 2,192 | 31,531 | 2,021 | 6,166 | 446,789 |
| 6月 | 1.90 | 2.16 | 1.23 | 1.18 | 35,332 | 2,228 | 31,018 | 2,014 | 7,694 | 527,476 |
| 7月 | 1.98 | 2.10 | 1.24 | 1.18 | 35,907 | 2,246 | 30,262 | 1,960 | 7,530 | 521,403 |
| 8月 | 1.98 | 2.06 | 1.24 | 1.18 | 35,824 | 2,228 | 29,451 | 1,924 | 7,214 | 501,447 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | 対前月（期）（ポイント） | | | | 対前年同月（期）比（%） | | | | 対前年同月（期）比（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | △ 0.13 | 0.03 | △ 0.03 | 0.03 | △ 1.5 | 0.9 | 0.2 | △ 1.3 | △ 3.0 | 3.1 |
| 6年 | △ 0.11 | △ 0.04 | △ 0.12 | △ 0.06 | △ 7.0 | △ 3.3 | 2.0 | 1.1 | 3.8 | 1.8 |
| 7年 | 0.06 | △ 0.05 | △ 0.01 | △ 0.03 | △ 0.3 | △ 3.5 | 0.3 | △ 1.2 | 1.7 | 5.6 |
| 7年 Ⅱ | △ 0.10 | △ 0.08 | △ 0.01 | △ 0.02 | 2.2 | △ 1.9 | 0.3 | △ 1.5 | △ 5.6 | 0.3 |
| Ⅲ | 0.02 | △ 0.06 | △ 0.02 | △ 0.02 | 1.6 | △ 3.3 | 1.3 | △ 0.4 | 6.4 | 9.8 |
| Ⅳ | △ 0.07 | △ 0.02 | △ 0.03 | △ 0.02 | △ 1.0 | △ 6.1 | 1.5 | △ 0.9 | 7.8 | 10.9 |
| 8年 Ⅰ | 0.02 | △ 0.01 | △ 0.03 | △ 0.01 | △ 1.6 | △ 5.2 | 5.5 | 0.1 | 7.8 | 9.4 |
| Ⅱ | 0.05 | 0.01 | 0.02 | 0.00 | △ 2.5 | △ 4.3 | 2.2 | 0.3 | 12.5 | 11.3 |
| 7年 5月 | △ 0.03 | △ 0.08 | △ 0.01 | △ 0.02 | 1.7 | △ 2.1 | △ 0.3 | △ 2.0 | △ 8.7 | △ 2.3 |
| 6月 | 0.06 | 0.00 | 0.00 | △ 0.01 | 4.0 | △ 1.9 | 1.5 | △ 0.9 | 0.4 | 5.4 |
| 7月 | 0.02 | 0.00 | △ 0.01 | 0.00 | 2.1 | △ 2.8 | 0.3 | △ 1.0 | 2.3 | 7.2 |
| 8月 | △ 0.05 | △ 0.03 | △ 0.02 | △ 0.01 | 1.1 | △ 3.6 | 1.3 | △ 0.3 | 5.6 | 8.5 |
| 9月 | 0.01 | △ 0.02 | 0.00 | △ 0.01 | 1.7 | △ 3.5 | 2.2 | 0.2 | 11.7 | 13.9 |
| 10月 | 0.00 | △ 0.01 | △ 0.02 | △ 0.01 | 0.7 | △ 5.2 | 2.6 | △ 0.0 | 8.8 | 11.8 |
| 11月 | △ 0.03 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | △ 0.9 | △ 7.0 | 0.9 | △ 1.7 | 6.4 | 9.3 |
| 12月 | △ 0.11 | 0.00 | △ 0.01 | 0.01 | △ 3.0 | △ 6.1 | 0.8 | △ 1.0 | 8.0 | 11.4 |
| 8年 1月 | 0.07 | △ 0.03 | △ 0.02 | △ 0.02 | △ 3.9 | △ 5.4 | 2.5 | △ 0.2 | 2.2 | 6.5 |
| 2月 | 0.00 | △ 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.5 | △ 5.1 | 6.5 | △ 0.1 | 4.9 | 5.8 |
| 3月 | 0.09 | 0.05 | △ 0.01 | △ 0.01 | △ 1.3 | △ 5.1 | 7.2 | 0.5 | 17.0 | 16.1 |
| 4月 | △ 0.04 | △ 0.04 | 0.02 | 0.00 | △ 2.9 | △ 5.0 | 2.9 | 0.5 | 15.0 | 11.6 |
| 5月 | 0.14 | 0.00 | 0.00 | △ 0.01 | △ 2.8 | △ 5.3 | 1.7 | △ 0.3 | 4.9 | 6.1 |
| 6月 | △ 0.18 | 0.05 | 0.01 | 0.01 | △ 1.8 | △ 2.8 | 2.1 | 0.6 | 17.3 | 15.7 |
| 7月 | 0.08 | △ 0.06 | 0.01 | 0.00 | 0.2 | △ 2.3 | 3.0 | 0.9 | 1.2 | △ 0.1 |
| 8月 | 0.00 | △ 0.04 | 0.00 | 0.00 | 1.4 | △ 1.1 | 2.7 | 1.2 | △ 0.7 | △ 2.0 |
| 9月 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | | |
|---|---|---|
| 備考 | 学卒を除きパートを含む。<br>新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値　四半期値は各期ごとの平均 | 四半期値は各期ごとの平均 |
| 資料出所 | 福島労働局職業安定部「最近の雇用失業情勢について」、「雇用失業情勢」 | |

| 区分 | 雇用・労働 | | | | | | | | 物価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 18 現金給与総額指数(名目) | | 19 所定外労働時間指数 | | 20 常用雇用指数 | | 21 パートタイム労働者比率 | | 22 国内企業物価指数 |
| 年月 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 福島県 | 全 国 | 全 国 |
| | | | | | | | (%) | (%) | |
| 令和5年 | 102.5 | 103.5 | 111.7 | 109.0 | 100.0 | 103.1 | 26.7 | 32.2 | 119.9 |
| 6年 | 106.0 | 109.2 | 95.7 | 109.3 | 100.4 | 104.3 | 25.8 | 30.9 | 122.8 |
| 7年 | 106.4 | 111.7 | 92.0 | 106.6 | 99.6 | 105.9 | 26.2 | 31.3 | 126.8 |
| 7年 Ⅱ | 109.7 | 117.0 | 92.5 | 107.2 | 99.3 | 106.0 | 25.8 | 31.1 | 126.5 |
| Ⅲ | 102.5 | 106.2 | 88.7 | 103.2 | 99.4 | 106.2 | 26.4 | 31.2 | 126.8 |
| Ⅳ | 124.4 | 130.4 | 94.0 | 109.1 | 99.8 | 106.5 | 26.7 | 31.4 | 128.0 |
| 8年 Ⅰ | 94.7 | 96.0 | 95.8 | 106.2 | 99.2 | 106.0 | 28.1 | 31.8 | 129.1 |
| Ⅱ | 119.2 | 121.3 | 100.0 | 106.5 | 100.0 | 106.9 | 27.9 | 31.3 | 134.9 |
| 7年 5月 | 91.4 | 94.7 | 90.4 | 105.4 | 99.2 | 106.1 | 25.9 | 31.1 | 126.5 |
| 6月 | 145.2 | 161.5 | 90.4 | 105.4 | 99.5 | 106.2 | 26.0 | 31.2 | 126.4 |
| 7月 | 121.5 | 130.9 | 92.6 | 106.5 | 99.0 | 106.4 | 26.2 | 31.2 | 126.7 |
| 8月 | 95.4 | 94.2 | 84.0 | 97.8 | 99.7 | 106.2 | 26.5 | 31.2 | 126.5 |
| 9月 | 90.5 | 93.5 | 89.4 | 105.4 | 99.5 | 106.1 | 26.5 | 31.1 | 127.1 |
| 10月 | 91.8 | 94.2 | 94.7 | 110.9 | 99.1 | 106.3 | 26.4 | 31.2 | 127.7 |
| 11月 | 97.3 | 98.5 | 94.7 | 108.7 | 100.0 | 106.5 | 26.8 | 31.5 | 128.1 |
| 12月 | 184.0 | 198.6 | 92.6 | 107.6 | 100.4 | 106.6 | 27.0 | 31.5 | 128.2 |
| 8年 1月 | 95.0 | 94.2 | 91.5 | 103.3 | 99.4 | 106.3 | 28.0 | 31.8 | 128.6 |
| 2月 | 92.6 | 93.8 | 92.6 | 105.4 | 99.5 | 106.2 | 28.1 | 31.9 | 128.6 |
| 3月 | 96.4 | 100.1 | 103.2 | 109.8 | 98.8 | 105.6 | 28.3 | 31.8 | 130.0 |
| 4月 | 97.5 | 98.2 | 103.2 | 112.0 | 99.9 | 106.7 | 28.0 | 31.2 | 133.6 |
| 5月 | 95.8 | 97.8 | 96.8 | 102.2 | 100.1 | 106.9 | 27.9 | 31.3 | 135.1 |
| 6月 | 164.4 | 168.0 | 100.0 | 105.4 | 100.1 | 107.1 | 27.7 | 31.4 | 135.9 |
| 7月 | 127.9 | 136.5 | 96.8 | 107.6 | 100.4 | 107.3 | 27.4 | 31.4 | 136.5 |
| 8月 | 102.2 | 97.8 | 93.6 | 100.0 | 100.3 | 107.1 | 27.6 | 31.2 | 136.1 |
| 9月 | | | | | | | | | 135.7 |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | 対前月(期)(ポイント) | | 対前年同月(期)比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | △ 3.0 | 1.2 | △ 6.3 | △ 0.9 | 1.4 | 1.9 | 0.7 | 0.6 | 4.4 |
| 6年 | 1.5 | 2.8 | △ 15.8 | △ 2.7 | 0.4 | 1.2 | △ 0.9 | △ 1.3 | 2.4 |
| 7年 | 0.4 | 2.3 | △ 3.9 | 1.3 | △ 0.8 | 1.5 | 0.4 | 0.4 | 3.3 |
| 7年 Ⅱ | 2.2 | 2.3 | △ 1.2 | △ 2.3 | △ 1.0 | 1.7 | △ 0.2 | △ 0.4 | 3.3 |
| Ⅲ | △ 1.7 | 2.4 | △ 5.6 | △ 2.8 | △ 1.2 | 1.4 | 0.6 | 0.1 | 2.7 |
| Ⅳ | 1.9 | 2.2 | △ 5.3 | △ 2.6 | △ 0.7 | 1.3 | 0.3 | 0.2 | 2.7 |
| 8年 Ⅰ | 6.2 | 3.0 | 3.1 | △ 0.7 | △ 0.5 | 1.2 | 1.4 | 0.4 | 2.6 |
| Ⅱ | 8.7 | 3.7 | 8.1 | △ 0.7 | 0.8 | 0.8 | △ 0.2 | △ 0.5 | 6.6 |
| 7年 5月 | △ 1.1 | 1.4 | △ 1.2 | △ 1.0 | △ 1.0 | 1.7 | 0.3 | 0.0 | 3.1 |
| 6月 | 3.7 | 3.1 | △ 1.2 | △ 3.0 | △ 1.0 | 1.5 | 0.1 | 0.2 | 2.8 |
| 7月 | △ 4.1 | 3.4 | △ 3.2 | △ 3.0 | △ 1.6 | 1.4 | 0.2 | 0.0 | 2.5 |
| 8月 | 0.0 | 1.3 | △ 6.0 | △ 3.3 | △ 1.0 | 1.3 | 0.3 | △ 0.0 | 2.7 |
| 9月 | 0.0 | 2.1 | △ 7.6 | △ 2.0 | △ 1.0 | 1.3 | 0.0 | △ 0.1 | 2.8 |
| 10月 | 1.2 | 2.5 | △ 4.2 | △ 1.9 | △ 1.3 | 1.3 | △ 0.1 | 0.1 | 2.8 |
| 11月 | △ 1.2 | 1.7 | △ 6.3 | △ 3.8 | △ 0.5 | 1.3 | 0.4 | 0.3 | 2.8 |
| 12月 | 4.1 | 2.4 | △ 5.4 | △ 2.0 | △ 0.3 | 1.3 | 0.2 | 0.0 | 2.5 |
| 8年 1月 | 5.2 | 2.5 | 4.9 | 0.0 | △ 0.6 | 1.2 | 1.0 | 0.3 | 2.5 |
| 2月 | 5.9 | 3.4 | △ 1.1 | △ 1.0 | △ 0.7 | 1.3 | 0.1 | 0.0 | 2.2 |
| 3月 | 7.5 | 3.1 | 5.4 | △ 1.0 | △ 0.3 | 1.1 | 0.2 | △ 0.0 | 3.0 |
| 4月 | 5.4 | 3.6 | 6.6 | 1.0 | 0.8 | 0.9 | △ 0.3 | △ 0.7 | 5.5 |
| 5月 | 4.8 | 3.3 | 7.1 | △ 3.0 | 0.9 | 0.8 | △ 0.1 | 0.1 | 6.8 |
| 6月 | 13.2 | 4.0 | 10.6 | 0.0 | 0.6 | 0.8 | △ 0.2 | 0.1 | 7.5 |
| 7月 | 5.3 | 4.3 | 4.5 | 1.0 | 1.4 | 0.8 | △ 0.3 | 0.0 | 7.7 |
| 8月 | 7.1 | 3.8 | 11.4 | 2.2 | 0.6 | 0.8 | 0.2 | △ 0.2 | 7.6 |
| 9月 | | | | | | | | | 6.8 |
| 備考 | 全産業5人以上<br>令和2年＝100 | | | | | | | | 令和2年＝100<br>総平均 |
| 資料<br>出所 | 福島県統計課「福島県の賃金、労働時間及び雇用の動き」<br>厚生労働省「毎月勤労統計」 | | | | | | | | 日本銀行「企業物価指数」 |

| 区分 | 物価 | | | | 企業・金融 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 23 消費者物価指数 | | | | 24 企業倒産 | | | | 25 金融機関預貸残高 | | | |
| 年月 | 福島市 | | 全国 | | 福島県 | | 全国 | | 福島県 | | 全国 | |
| | 総合 | 生鮮食品を除く総合 | 総合 | 生鮮食品を除く総合 | 件数 | 負債総額 | 件数 | 負債総額 | 預金残高 | 貸出残高 | 預金残高 | 貸出残高 |
| | | | | | (件) | (百万円) | (件) | (億円) | (億円) | (億円) | (百億円) | (百億円) |
| 令和5年 | 94.6 | 94.8 | 94.3 | 94.6 | 80 | 13,526 | 8,690 | 24,026 | 103,234 | 49,005 | 96,900 | 61,086 |
| 6年 | 97.1 | 97.1 | 96.9 | 97.0 | 122 | 17,048 | 10,006 | 23,436 | 103,768 | 50,284 | 99,138 | 63,980 |
| 7年 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 105 | 17,446 | 10,300 | 15,923 | 103,254 | 51,449 | 101,029 | 66,657 |
| 7年 Ⅱ | 99.8 | 100.0 | 99.9 | 100.0 | 24 | 4,529 | 2,533 | 2,989 | 104,365 | 50,853 | 100,736 | 64,792 |
| Ⅲ | 100.0 | 100.2 | 100.2 | 100.2 | 26 | 6,982 | 2,639 | 3,939 | 103,084 | 51,056 | 100,589 | 65,198 |
| Ⅳ | 101.1 | 101.2 | 100.9 | 100.9 | 26 | 3,379 | 2,671 | 5,081 | 103,254 | 51,449 | 101,029 | 66,657 |
| 8年 Ⅰ | 100.8 | 100.8 | 100.5 | 100.5 | 22 | 34,588 | 2,662 | 3,678 | 103,429 | 51,884 | 103,558 | 67,675 |
| Ⅱ | 101.2 | 101.6 | 101.4 | 101.5 | 18 | 1,383 | 2,684 | 3,662 | 104,425 | 52,070 | 103,946 | 68,223 |
| 7年 5月 | 100.0 | 100.2 | 100.0 | 100.1 | 10 | 3,642 | 857 | 904 | 103,574 | 50,957 | 100,983 | 64,173 |
| 6月 | 99.8 | 100.1 | 99.9 | 100.2 | 7 | 458 | 848 | 1,057 | 104,365 | 50,853 | 100,736 | 64,792 |
| 7月 | 100.0 | 100.3 | 100.1 | 100.3 | 9 | 4,882 | 961 | 1,670 | 103,590 | 50,836 | 100,576 | 64,860 |
| 8月 | 99.9 | 100.0 | 100.3 | 100.3 | 8 | 831 | 805 | 1,144 | 103,780 | 51,032 | 100,915 | 64,983 |
| 9月 | 100.2 | 100.3 | 100.1 | 100.1 | 9 | 1,269 | 873 | 1,125 | 103,084 | 51,056 | 100,589 | 65,198 |
| 10月 | 100.9 | 101.0 | 100.7 | 100.7 | 8 | 741 | 965 | 1,275 | 102,834 | 51,274 | 100,738 | 65,470 |
| 11月 | 101.3 | 101.5 | 101.0 | 101.1 | 7 | 385 | 778 | 824 | 103,008 | 51,571 | 101,885 | 65,905 |
| 12月 | 101.1 | 101.2 | 100.9 | 100.9 | 11 | 2,253 | 928 | 2,982 | 103,254 | 51,449 | 101,029 | 66,657 |
| 8年 1月 | 101.2 | 101.1 | 100.8 | 100.7 | 7 | 663 | 887 | 1,198 | 102,817 | 51,418 | 101,404 | 66,856 |
| 2月 | 100.4 | 100.4 | 100.2 | 100.2 | 7 | 33,419 | 851 | 1,332 | 103,055 | 51,777 | 101,836 | 67,096 |
| 3月 | 100.7 | 100.8 | 100.6 | 100.7 | 8 | 506 | 924 | 1,149 | 103,429 | 51,884 | 103,558 | 67,675 |
| 4月 | 101.0 | 101.3 | 101.0 | 101.1 | 6 | 651 | 883 | 1,119 | 103,604 | 51,482 | 103,969 | 67,539 |
| 5月 | 101.5 | 101.8 | 101.5 | 101.6 | 4 | 103 | 780 | 1,212 | 103,353 | 52,059 | 104,288 | 67,767 |
| 6月 | 101.2 | 101.6 | 101.6 | 101.7 | 8 | 629 | 1,021 | 1,332 | 104,425 | 52,070 | 103,946 | 68,223 |
| 7月 | 101.9 | 102.3 | 102.0 | 102.1 | 19 | 1,723 | 1,028 | 2,363 | 103,476 | 52,248 | 103,808 | 68,284 |
| 8月 | 102.0 | 102.1 | 102.2 | 102.0 | 9 | 3,299 | 830 | 1,447 | 103,526 | 52,474 | 104,057 | 68,364 |
| 9月 | 102.3 | 102.5 | 102.2 | 102.3 | 9 | 1,220 | 831 | 1,089 | | | | |
| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | | | |
| 令和5年 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 21.2 | 8.4 | 35.2 | 3.1 | 0.8 | 1.7 | 3.4 | 3.8 |
| 6年 | 2.7 | 2.4 | 2.7 | 2.5 | 52.5 | 26.0 | 15.1 | △ 2.5 | 0.5 | 2.6 | 2.3 | 4.7 |
| 7年 | 3.0 | 2.9 | 3.2 | 3.1 | △ 13.9 | 2.3 | 2.9 | △ 32.1 | △ 0.5 | 2.3 | 1.9 | 4.2 |
| 7年 Ⅱ | 3.0 | 3.2 | 3.6 | 3.5 | △ 14.3 | △ 10.8 | △ 3.0 | △ 17.0 | △ 0.1 | 2.7 | 1.6 | 3.6 |
| Ⅲ | 2.8 | 2.8 | 3.0 | 2.9 | △ 25.7 | 74.9 | 6.3 | △ 61.2 | △ 0.4 | 2.7 | 2.2 | 4.1 |
| Ⅳ | 2.8 | 3.1 | 2.5 | 2.7 | △ 10.3 | 3.6 | 3.0 | △ 16.3 | △ 0.5 | 2.3 | 1.9 | 4.2 |
| 8年 Ⅰ | 1.8 | 2.2 | 1.4 | 1.7 | △ 24.1 | 1,253.2 | 8.3 | △ 6.0 | △ 0.4 | 2.6 | 3.1 | 5.2 |
| Ⅱ | 1.4 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | △ 25.0 | △ 69.5 | 6.0 | 22.5 | 0.1 | 2.4 | 3.2 | 5.3 |
| 7年 5月 | 3.1 | 3.4 | 3.5 | 3.7 | △ 16.7 | 37.5 | △ 15.1 | △ 33.9 | △ 0.4 | 3.0 | 1.7 | 3.2 |
| 6月 | 2.6 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | △ 12.5 | △ 72.0 | 3.4 | △ 3.8 | △ 0.1 | 2.7 | 1.6 | 3.6 |
| 7月 | 2.7 | 2.7 | 3.1 | 3.1 | △ 30.8 | 393.6 | 0.8 | △ 78.6 | △ 0.3 | 2.6 | 1.5 | 3.6 |
| 8月 | 2.4 | 2.4 | 2.7 | 2.7 | △ 20.0 | △ 40.1 | 11.3 | 12.8 | △ 0.4 | 2.6 | 2.0 | 3.8 |
| 9月 | 2.9 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | △ 25.0 | △ 21.5 | 8.2 | △ 15.3 | △ 0.4 | 2.7 | 2.2 | 4.1 |
| 10月 | 2.9 | 3.2 | 3.0 | 3.0 | △ 33.3 | △ 50.5 | 6.2 | △ 49.6 | △ 0.6 | 2.8 | 2.1 | 4.2 |
| 11月 | 3.0 | 3.3 | 2.9 | 3.0 | △ 41.7 | △ 74.4 | △ 7.5 | △ 48.6 | △ 0.5 | 2.7 | 2.6 | 4.1 |
| 12月 | 2.2 | 2.5 | 2.1 | 2.4 | 120.0 | 769.9 | 10.2 | 53.7 | △ 0.5 | 2.3 | 1.9 | 4.2 |
| 8年 1月 | 2.1 | 2.6 | 1.5 | 1.9 | △ 30.0 | △ 17.6 | 5.6 | △ 1.3 | △ 0.1 | 2.6 | 2.0 | 4.2 |
| 2月 | 1.6 | 2.0 | 1.3 | 1.5 | △ 22.2 | 6,100.2 | 11.4 | △ 22.3 | 0.3 | 3.4 | 2.6 | 4.7 |
| 3月 | 1.5 | 1.9 | 1.5 | 1.7 | △ 20.0 | △ 58.3 | 8.3 | 16.5 | △ 0.4 | 2.6 | 3.1 | 5.2 |
| 4月 | 1.3 | 1.6 | 1.4 | 1.4 | △ 14.3 | 51.7 | 6.6 | 8.8 | △ 0.1 | 2.2 | 3.4 | 5.3 |
| 5月 | 1.5 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | △ 60.0 | △ 97.2 | △ 9.0 | 34.1 | △ 0.2 | 2.2 | 3.3 | 5.6 |
| 6月 | 1.4 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 14.3 | 37.3 | 20.4 | 25.9 | 0.1 | 2.4 | 3.2 | 5.3 |
| 7月 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.8 | 111.1 | △ 64.7 | 7.0 | 41.5 | △ 0.1 | 2.8 | 3.2 | 5.3 |
| 8月 | 2.1 | 2.1 | 1.9 | 1.7 | 12.5 | 297.0 | 3.1 | 26.5 | △ 0.2 | 2.8 | 3.1 | 5.2 |
| 9月 | 2.0 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | 0.0 | △ 3.9 | △ 4.8 | △ 3.2 | | | | |
| 備考 | 令和7年＝100 | | | | 負債総額1,000万円以上 | | | | 年・期・月末残高　県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫の計(13銀行(県内店舗分)、8信金(県外店舗含む)) | | | |
| 資料出所 | 総務省統計局「消費者物価指数」 | | | | (株)東京商工リサーチ福島支店・郡山支店「福島県企業倒産状況」、(株)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」 | | | | 預金残高は実質預金(総預金から切手手形を控除したもの)<br>日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」、日本銀行「金融経済統計月報」 | | | |

| 区分 | 企業・金融 | | 中小企業の業況 | | | | | | | 市場 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 26 貸出約定平均金利 | | 27 中小企業業況DI | | | | | | | 28 株式 | 29 円相場 |
| 年月 | 福島県 | 全国 | 福島県 | | | | | | | 株価 | |
| | 地元地銀・第二地銀 | 国内銀行 | 全産業 | 製造業 | 非製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | ｻｰﾋﾞｽ業 | 東証株式（プライム） | 東京市場 米ドルスポット |
| | (%) | (%) | | | | | | | | (円) | (円/米ﾄﾞﾙ) |
| 令和5年 | 0.703 | 0.779 | － | － | － | － | － | － | － | 30,716.56 | 140.59 |
| 6年 | 0.814 | 0.943 | － | － | － | － | － | － | － | 38,396.74 | 151.59 |
| 7年 | 1.027 | 1.212 | － | － | － | － | － | － | － | 41,794.15 | 149.56 |
| 7年 Ⅱ | 0.966 | 1.125 | － | － | － | － | － | － | － | 36,752.18 | 144.54 |
| Ⅲ | 0.987 | 1.154 | － | － | － | － | － | － | － | 42,164.11 | 147.41 |
| Ⅳ | 1.027 | 1.212 | － | － | － | － | － | － | － | 49,565.11 | 154.03 |
| 8年 Ⅰ | 1.100 | 1.325 | － | － | － | － | － | － | － | 54,454.94 | 156.90 |
| Ⅱ | 1.235 | 1.452 | － | － | － | － | － | － | － | 62,878.35 | 159.52 |
| 7年 5月 | 0.931 | 1.073 | － | － | － | － | － | － | － | 37,490.45 | 144.75 |
| 6月 | 0.966 | 1.125 | △ 23.2 | △ 21.2 | △ 25.0 | △ 32.6 | △ 36.5 | △ 24.7 | △ 7.5 | 38,458.28 | 144.50 |
| 7月 | 0.991 | 1.137 | － | － | － | － | － | － | － | 40,173.04 | 146.71 |
| 8月 | 0.979 | 1.140 | － | － | － | － | － | － | － | 42,299.86 | 147.67 |
| 9月 | 0.987 | 1.154 | △ 23.6 | △ 17.9 | △ 28.8 | △ 29.3 | △ 29.7 | △ 39.7 | △ 14.1 | 44,218.54 | 147.94 |
| 10月 | 0.988 | 1.159 | － | － | － | － | － | － | － | 48,521.07 | 151.28 |
| 11月 | 1.003 | 1.164 | － | － | － | － | － | － | － | 50,111.11 | 155.12 |
| 12月 | 1.027 | 1.212 | △ 19.7 | △ 13.5 | △ 25.2 | △ 10.6 | △ 43.7 | △ 29.6 | △ 12.1 | 50,162.42 | 155.88 |
| 8年 1月 | 1.030 | 1.235 | － | － | － | － | － | － | － | 53,077.27 | 156.71 |
| 2月 | 1.063 | 1.263 | － | － | － | － | － | － | － | 56,480.85 | 155.07 |
| 3月 | 1.100 | 1.325 | △ 13.7 | △ 4.6 | △ 22.2 | △ 26.2 | △ 24.0 | △ 30.0 | △ 8.7 | 53,964.90 | 158.64 |
| 4月 | 1.127 | 1.343 | － | － | － | － | － | － | － | 57,245.82 | 159.28 |
| 5月 | 1.186 | 1.359 | － | － | － | － | － | － | － | 62,773.72 | 158.34 |
| 6月 | 1.235 | 1.452 | △ 22.6 | △ 9.1 | △ 33.7 | △ 37.3 | △ 35.1 | △ 38.5 | △ 24.7 | 68,340.46 | 160.71 |
| 7月 | 1.270 | 1.483 | － | － | － | － | － | － | － | 66,505.60 | 162.55 |
| 8月 | 1.293 | 1.510 | － | － | － | － | － | － | － | 66,377.81 | 158.74 |
| 9月 | | | △ 12.6 | △ 4.1 | △ 20.6 | △ 40.8 | △ 29.4 | △ 18.9 | 1.5 | 65,048.25 | 156.41 |

| | 対前月（期）差 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年 | 0.011 | 0.008 | － | － | － | － | － | － | － | 3,458.77 | 9.01 |
| 6年 | 0.111 | 0.164 | － | － | － | － | － | － | － | 7,680.19 | 11.00 |
| 7年 | 0.213 | 0.269 | － | － | － | － | － | － | － | 3,397.41 | △ 2.03 |
| 7年 Ⅱ | 0.085 | 0.080 | － | － | － | － | － | － | － | △ 1,671.19 | △ 7.95 |
| Ⅲ | 0.021 | 0.029 | － | － | － | － | － | － | － | 5,411.93 | 2.87 |
| Ⅳ | 0.040 | 0.058 | － | － | － | － | － | － | － | 7,401.00 | 6.61 |
| 8年 Ⅰ | 0.073 | 0.113 | － | － | － | － | － | － | － | 4,889.83 | 2.87 |
| Ⅱ | 0.135 | 0.127 | － | － | － | － | － | － | － | 8,423.41 | 2.62 |
| 7年 5月 | 0.007 | 0.010 | － | － | － | － | － | － | － | 3,147.49 | 0.36 |
| 6月 | 0.035 | 0.052 | 2.5 | 2.3 | 2.5 | △ 3.7 | △ 5.7 | 6.5 | 10.9 | 967.83 | △ 0.25 |
| 7月 | 0.025 | 0.012 | － | － | － | － | － | － | － | 1,714.76 | 2.21 |
| 8月 | △ 0.012 | 0.003 | － | － | － | － | － | － | － | 2,126.81 | 0.96 |
| 9月 | 0.008 | 0.014 | △ 0.4 | 3.3 | △ 3.8 | 3.3 | 6.8 | △ 15.0 | △ 6.6 | 1,918.68 | 0.27 |
| 10月 | 0.001 | 0.005 | － | － | － | － | － | － | － | 4,302.53 | 3.34 |
| 11月 | 0.015 | 0.005 | － | － | － | － | － | － | － | 1,590.04 | 3.84 |
| 12月 | 0.024 | 0.048 | 3.9 | 4.4 | 3.6 | 18.7 | △ 14.0 | 10.1 | 2.0 | 51.32 | 0.76 |
| 8年 1月 | 0.003 | 0.023 | － | － | － | － | － | － | － | 2,914.85 | 0.83 |
| 2月 | 0.033 | 0.028 | － | － | － | － | － | － | － | 3,403.58 | △ 1.64 |
| 3月 | 0.037 | 0.062 | 6.0 | 8.9 | 3.0 | △ 15.6 | 19.7 | △ 0.4 | 3.4 | △ 2,515.95 | 3.57 |
| 4月 | 0.027 | 0.018 | － | － | － | － | － | － | － | 3,280.92 | 0.64 |
| 5月 | 0.059 | 0.016 | － | － | － | － | － | － | － | 5,527.90 | △ 0.94 |
| 6月 | 0.049 | 0.093 | △ 8.9 | △ 4.5 | △ 11.5 | △ 11.1 | △ 11.1 | △ 8.5 | △ 16.0 | 5,566.74 | 2.37 |
| 7月 | 0.035 | 0.031 | － | － | － | － | － | － | － | △ 1,834.86 | 1.84 |
| 8月 | 0.023 | 0.027 | － | － | － | － | － | － | － | △ 127.79 | △ 3.81 |
| 9月 | | | 10.0 | 5.0 | 13.1 | △ 3.5 | 5.7 | 19.6 | 26.2 | △ 1,329.56 | △ 2.34 |
| 備考 | （総合）年・月末残ベース | | 前年同期と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値　（四半期月末時点） | | | | | | | （日経平均(225種)期中平均値） | （期中平均値） |
| 資料出所 | 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」<br>日本銀行「金融経済統計月報」 | | （公財）福島県産業振興センター「中小企業景気動向調査」 | | | | | | | 日本経済新聞社 | 日本経済新聞社 |

# 4　参考

## 1　中小企業景況景気動向（（公財）福島県産業振興センター）

## 景　気　動　向

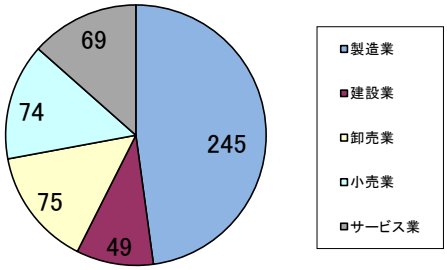
**業況はわずかに改善。**
**先行きは製造業、非製造業で横ばいの見通し。**

●調査時点 令和8年10月調査（8年9月末時点）
●対象企業 800社
●回答企業 512社（回答率：64．0%）
（製造業245社、建設業49社、卸売業75社、
小売業74社、サービス業69社）
●調査時期 四半期毎（3，6，9，12月末時点）

**DI（Diffusion　Index）**値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業

| | |
|---|---|
| 製造業 | 245 |
| 建設業 | 49 |
| 卸売業 | 75 |
| 小売業 | 74 |
| サービス業 | 69 |




**＜全 産 業＞**

全産業の業況DI（▲12.6）は、前回（▲22.6）に比べ（10）ポイントの改善を示した。
業種別では製造業の業況DI（▲4.1）は、前回（▲9.1）に比べ（5）ポイントの改善を示した。
建設業の業況DI（▲40.8）は、前回（▲37.3）に比べ（3.5）ポイントの悪化を示した。
卸売業の業況DI（▲29.4）は前回（▲35.1）に比べ（5.7）ポイントの改善を示した。
小売業の業況DI（▲18.9）は前回（▲38.5）に比べ（19.6）ポイントの改善を示した。
サービス業の業況DI（1.5）は前回（▲24.7）に比べ（26.2）ポイントの改善を示した。

【3ヵ月先見通し】
〈業況〉今回＝令和8年9月末
全産業では今回（▲12.6）から3ヵ月先（▲15.1）と2.5ポイントの悪化を見通している。
製造業では今回（▲4.1）から3ヵ月先（▲7.7）と3.6ポイント悪化を見通している。
建設業では今回（▲40.8）から3ヵ月先（▲24.5）と16.3ポイントの改善を見通している。
卸売業では今回（▲29.4）から3ヵ月先（▲21.3）と8.1ポイントの改善を見通している。
小売業では今回（▲18.9）から3ヵ月先（▲29.7）と10.8ポイントの悪化を見通している。
サービス業では今回（1.5）から3ヵ月先（▲11.5）と13ポイントの悪化を見通している。

**■全産業の主要4項目DI値**

| | 業況 | 売上 | 採算 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|
| 9月末時点 | −12.6 | −9.5 | −23.0 | −14.9 |
| 6月末時点 | −22.6 | −15.5 | −32.1 | −15.8 |
| 前回比 | 10.0 | 6.0 | 9.1 | 0.9 |

**■全産業の業況**

| 業況 | 9月末時点 | 6月末時点 |
|---|---|---|
| 良化 | 19.0 | 15.1 |
| 悪化 | 31.6 | 37.7 |
| DI値 | −12.6 | −22.6 |
| 前回比 | 10.0 | −8.9 |

**9月末時点からみた**
**全産業の業況3か月先の見通し**

| 業況3か月先見通し | |
|---|---|
| 良化 | 10.9 |
| 悪化 | 26.0 |
| DI値 | −15.1 |

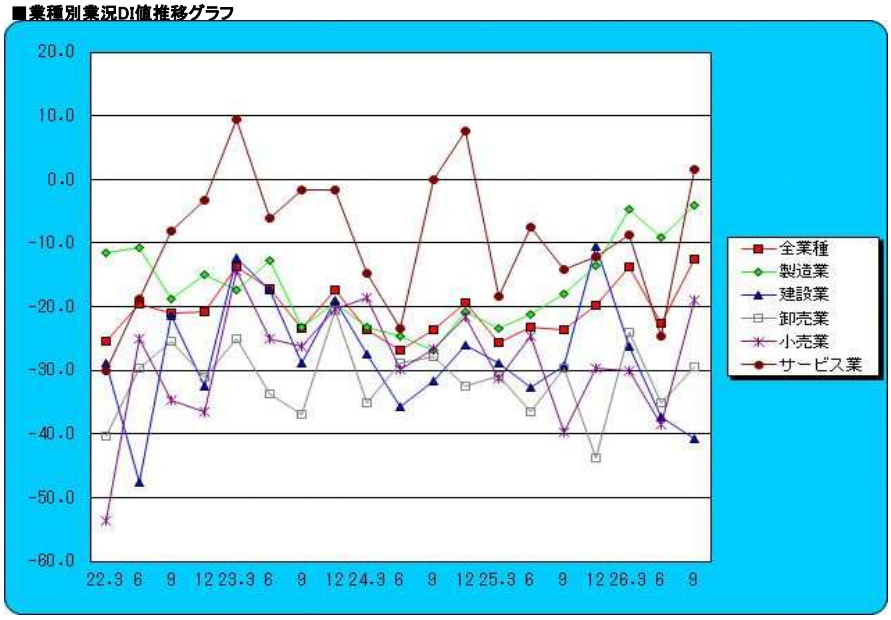
■製造業の業況

| 業況 | 9月末時点 | 6月末時点 |
|---|---|---|
| 良化 | 23.7 | 22.1 |
| 悪化 | 27.8 | 31.2 |
| DI値 | −4.1 | −9.1 |
| 前回比 | 5.0 | −4.5 |

■非製造業の業況

| 業況 | 9月末時点 | 6月末時点 |
|---|---|---|
| 良化 | 14.6 | 9.3 |
| 悪化 | 35.2 | 43.0 |
| DI値 | −20.6 | −33.7 |
| 前回比 | 13.1 | −11.5 |

■業種別業況DI値推移グラフ




## ＜製造業＞

| 業況DI値 | |
|---|---|
| 今 回 | −4.1 |
| 先行き | −7.7 |
| 前回比 | 5.0 |

| | |
|---|---|
| 対象企業 | 375 |
| 回答企業 | 245 |

採算でわずかに改善、業況・売上・資金繰りで横ばいを示した。
〈業況〉
・大幅改善・・・・・・・「酒造」
・改善・・・・・・・・・・・「織物」、「プラスチック」
・わずかに改善・・・「食料品」、「縫製」、「窯業・土石」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」
・わずかに悪化・・・「木材・木製品」、「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
・悪化・・・・・・・・・・・「ニット」、「精密機器」
〈採算〉
・大幅改善・・・・・・・「酒造」
・改善・・・・・・・・・・・「織物」、「縫製」、「金属」
・わずかに改善・・・「木材・木製品」、「印刷」、「窯業・土石」、「一般機械」、「電気機器」、「輸送用機器」、「プラスチック」
・横ばい・・・・・・・・・「食料品」
・わずかに悪化・・・「鉄鋼・非鉄」
・悪化・・・・・・・・・・・「ニット」、「精密機器」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「織物」、「縫製」
・わずかに改善・・・「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「電気機器」
・横ばい・・・・・・・・・「一般機械」、「輸送用機器」、「プラスチック」
・わずかに悪化・・・「食料品」、「酒造」、「ニット」、「木材・木製品」、「印刷」
・悪化・・・・・・・・・・・「精密機器」

【3ヵ月先見通し】
業況・売上・採算・資金繰り全てで横ばいを見通している。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「織物」、「ニット」
・わずかに改善・・・「食料品」、「木材・木製品」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
・横ばい・・・・・・・・・「縫製」、「精密機器」、「プラスチック」
・わずかに悪化・・・「印刷」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」
・悪化・・・・・・・・・・・「酒造」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「織物」、「精密機器」
・わずかに改善・・・「食料品」、「木材・木製品」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
・横ばい・・・・・・・・・「縫製」、「印刷」、「窯業・土石」、「金属」
・わずかに悪化・・・「酒造」、「ニット」、「一般機械」、「電気機器」、「プラスチック」

**自由意見**

製造業

○ 売値を上げたことにより販売数量が減少し、売上高はほぼ横ばいとなったり、外食産業は厳しい状況にある 【食料品】
○ 原材料の単価が高騰している。 【酒造】
○ 衣料品は99%が輸入品で、国内生産はわずか1%という状況にあり、国内の衣料品産業を取り巻く環境は厳しい。あらゆる面で改善・改革を進めているものの、容易には進まない状況にある。それでも雇用を守るため、取り組みを続けていく必要がある。 【縫製】
○ 資材価格の高騰により、受注を取り消す物件が顕著に増加している。 【木材・木製品】
○ 米国とイランの紛争によるペルシャ湾封鎖の影響により、資材価格の上昇や入荷時期の遅延・不安定化が生じており、採算性や生産計画、資金繰りに大きな影響が生じている。 【木材・木製品】
○ 中東情勢の影響により、原材料や商品の調達が困難な状況となっている。 【木材・木製品】
○ AIの普及などにより、紙に印刷する需要が大幅に減少している。 【印刷】
○ 公共土木工事の減少に加え、稼働日数の減少、仕入金額、借入金利の上昇、人件費の増加等、経営環境は悪い状況です。 【窯業・土石】
○ 金やプラチナの地金相場が下落傾向にあり、金・プラチナ製品の売上げが大きく鈍化している。 【鉄鋼・非鉄】
○ 1年ほど前から景況は良化で、AIやデータセンター関連がさまざまな業界を牽引している。一方で、大手企業との取引では価格転嫁が進まず、利益率が改善しないため、賃上げの原資を確保できていない。 【一般機械】
○ 仕入価格が毎月のように上昇する一方、取引先への価格転嫁が進まず、物価高騰に価格の値上げが追いついていない。利益は確保できているものの、経費の支払が先行し、資金繰りは厳しい状況にある。 【一般機械】
○ 仕事量は増加傾向にある。採算も都度見直しをかけており、人件費の上昇にも対応できている。 【一般機械】
○ 最低賃金の大幅な上昇により、人件費や社会保険料等の負担が増加し、経営環境を圧迫している。 【電気機器】
○ 最低賃金の上昇により、経営環境が悪化している。 【電気機器】
○ 売上は改善している一方、人手不足により一定以上の売上拡大対応は難しい状況にあ 【輸送用機器】

## ＜建設業＞

| 業況DI値 | |
|---|---|
| 今　回 | −40.8 |
| 先行き | −24.5 |
| 前回比 | −3.5 |

| | |
|---|---|
| 対象企業 | 67 |
| 回答企業 | 49 |

業況・採算で横ばい、売上・資金繰りでわずかに悪化を示した。
〈業況・資金繰り〉
・横ばい・・・・・・・・・「土木」
・わずかに悪化・・・「建築」
〈採算〉
・横ばい・・・・・・・・・「土木」、「建築」

【3ヵ月先見通し】
業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「建築」
・横ばい・・・・・・・・・「土木」
〈資金繰り〉
・わずかに改善・・・「土木」
・横ばい・・・・・・・・・「建築」

**自由意見**

建設業

○ 人口が減少し、売上も減少している。 【土木】
○ 従業員不足により事業規模の縮小を検討している。 【土木】
○ 同業者の廃業が進み、受注に関する話もなく、先行きの見通しが立たない状況にある。また、相談したいことが多岐にわたり、何を相談すべきか整理できない状況にある。 【建築】
○ 大手企業と比較して中小零細企業の経営環境は厳しく、今後倒産が増加することが懸念される。 【建築】
○ 受注が減少する中、従業員の高齢化により施工に時間を要し、人件費負担が増加していることから、厳しい経営状況となっている。 【建築】
○ 悪化傾向が続いているが、打開策を検討している。 【建築】

## ＜卸売業＞

| 業況DI値 | |
|---|---|
| 今　回 | −29.4 |
| 先行き | −21.3 |
| 前回比 | 5.7 |

| | |
|---|---|
| 対象企業 | 115 |
| 回答企業 | 75 |

業況・採算でわずかに改善、売上・資金繰りで横ばいを示した。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「機械器具」
・わずかに改善・・・「青果物」、「建築材料」
・横ばい・・・・・・・・・・「飲食料」
・わずかに悪化・・・「鮮魚」、「その他」
・悪化・・・・・・・・・・・「衣服」
〈採算〉
・改善・・・・・・・・・・・「衣服」、「その他」
・わずかに改善・・・「青果物」、「機械器具」、「建築材料」
・わずかに悪化・・・「飲食料」、「鮮魚」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「青果物」、「その他」
・横ばい・・・・・・・・・・「衣服」
・わずかに悪化・・・「飲食料」、「建築材料」
・悪化・・・・・・・・・・・「鮮魚」、「機械器具」

【3ヵ月先見通し】
業況・売上・採算・資金繰り全てでわずかに改善を見通している。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「衣服」、「鮮魚」、「建築材料」
・わずかに改善・・・「飲食料」
・わずかに悪化・・・「青果物」、「機械器具」、「その他」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「飲食料」、「鮮魚」
・わずかに改善・・・「機械器具」、「建築材料」
・横ばい・・・・・・・・・・「青果物」
・わずかに悪化・・・「その他」
・悪化・・・・・・・・・・・「衣服」

### 自由意見

卸売業

○ 仕入単価が毎月上昇しており、経営環境は悪化している。【衣服】
○ 円安の進行により輸入単価が上昇しているほか、仕入単価や人件費も上昇しており、各種コストの上昇が続いている。【衣服】
○ 飼料代や雛代がさらに値上がりしており、コスト負担が増加している。【飲食料】
○ 人件費は上昇しているものの、消費は伸び悩んでいる。【飲食料】
○ アミューズメント関連の取引先の業況は堅調に推移している。【飲食料】
○ 仕入先が農家、販売先が市場であるため、近年の天候不順に加え、人件費や資材費、運賃の高騰により、経営は大変厳しい状況となっている。【青果物】
○ 受注が減少する中でも人員確保のためには賃金の引上げが必要となっている。一方、賃金や社会保険料等の増加分を販売価格に転嫁することは難しく、経営の負担となっている。【青果物】
○ 取引先企業で、廃業する事業者が出てきている。【機械器具】
○ 大きな修理案件が1件発生したことにより売上高は一時的に増加したが、業況全体に大きな変化はない。【機械器具】
○ 米価が高かった過去2年間は業況も良好であったが、米価の低下により離農者が増加することが懸念される。また、仕入単価が上昇しているものの、販売価格への転嫁が進んでいない。【その他】

## ＜小売業＞

| 業況DI値 | |
|---|---|
| 今　回 | −18.9 |
| 先行き | −29.7 |
| 前回比 | 19.6 |

| | |
|---|---|
| 対象企業 | 138 |
| 回答企業 | 74 |

業況・売上・採算・資金繰り全てでわずかに改善を示した。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「飲食料」、「自動車販売」、「家具・建具」
・わずかに改善・・・「衣料」、「その他」
・横ばい・・・・・・・・・・「家電品」
・わずかに悪化・・・「中小スーパー」
〈採算〉
・改善・・・・・・・・・・・「その他」
・わずかに改善・・・「自動車販売」
・横ばい・・・・・・・・・・「飲食料」、「家電品」、「家具・建具」
・わずかに悪化・・・「中小スーパー」、「衣料」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「飲食料」
・わずかに改善・・・「中小スーパー」、「衣料」、「その他」
・横ばい・・・・・・・・・・「家具・建具」
・わずかに悪化・・・「家電品」
・悪化・・・・・・・・・・・「自動車販売」

【3ヵ月先見通し】
採算・資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を見通している。
〈業況〉
・わずかに改善・・・「中小スーパー」、「衣料」
・横ばい・・・・・・・・・・「家電品」
・わずかに悪化・・・「飲食料」
・悪化・・・・・・・・・・・「自動車販売」、「家具・建具」、「その他」
〈資金繰り〉
・改善・・・・・・・・・・・「衣料」
・わずかに改善・・・「家電品」
・横ばい・・・・・・・・・・「中小スーパー」、「飲食料」、「自動車販売」、
「家具・建具」
・悪化・・・・・・・・・・・「その他」

### 自由意見

小売業

○　仕入単価の上昇に伴い販売単価も上昇しており、また、売上はほぼ横ばいとなっている。【中小スーパー】

○　米の卸売・小売が売上の半数以上を占めており、連日の報道にもあるように米穀業界は極めて厳しい。【飲食料】

○　金利の上昇局面において、借入環境は厳しくなることが懸念される。【飲食料】

○　物価高騰の影響により、インテリア用品や家具などは購入の優先順位が下がり、買い控えの傾向にある。【家具・建具】

○　金利上昇に伴い新築住宅の着工件数が減少し、それに伴って家具の需要も減少している。また、物価高の影響により、家具の買替え需要も低迷している。【家具・建具】

## ＜サービス業＞

| 業況DI値 | |
|---|---|
| 今　回 | 1.5 |
| 先行き | −11.5 |
| 前回比 | 26.2 |

| | |
|---|---|
| 対象企業 | 105 |
| 回答企業 | 69 |

業況で改善、売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを示した。
〈業況〉
・改善・・・・・・・・・・・「観光旅館」、「タクシー」、「運送」
・わずかに改善・・・「自動車整備」、「情報サービス」、「その他」
〈採算〉
・改善・・・・・・・・・・・「観光旅館」、「その他」
・わずかに改善・・・「運送」、「情報サービス」
・横ばい・・・・・・・・・・「タクシー」
・わずかに悪化・・・「自動車整備」
〈資金繰り〉
・わずかに改善・・・「観光旅館」、「運送」、「情報サービス」、「その他」
・横ばい・・・・・・・・・・「タクシー」
・悪化・・・・・・・・・・・「自動車整備」

【3ヵ月先見通し】
資金繰りで横ばい、業況・売上・採算でわずかに悪化を見通している。
〈業況〉
・わずかに改善・・・「タクシー」
・横ばい・・・・・・・・・・「自動車整備」、「情報サービス」
・わずかに悪化・・・「運送」、「その他」
・悪化・・・・・・・・・・・「観光旅館」
〈資金繰り〉
・わずかに改善・・・「運送」、「自動車整備」
・横ばい・・・・・・・・・・「情報サービス」、「その他」
・わずかに悪化・・・「観光旅館」、「タクシー」

### 自由意見

サービス業

○　原材料費や水道光熱費、人件費の上昇により、採算確保が難しくなっている。一方、販売価格を引き上げると、客足の減少が懸念され、価格転嫁も容易ではない。【旅館・ホテル】

○　燃料価格の高騰に加え、人手不足が続いている。【運送】

○　仕入単価や諸経費は増加しているが、作業単価の見直しや新規顧客の増加により、今年度は改善傾向にある。【自動車整備】

## 2　中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会）９月分

### 〈特記事項〉

**食料品**

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 漬物 | 天候不順により、原料不足になってきている。原油の高騰による仕入価格の上昇に値上げが追いつかない状況にある。 |
| 2 | 味噌醤油 | ９月は今年最大の飲食料品（特に調味料）値上げラッシュとなり、消費者の節約・低価格志向が一層進んでいる。10月も各種値上げが予定されており、また中東情勢や円安等によるコスト上昇、異常気象による農水産品や畜産品の不作・生育不良も懸念され、消費者動向を見極めながら収益面・資金繰りの対応に苦慮している。 |
| 3 | 菓子 | ９月はシルバーウィークなど客足好調傾向。 |
| 4 | 乾麺 | 天候により販売不調。 |
| 5 | 酒造 | 日本酒の出荷量は、前月比は６％の減少、前年同月比は５％の増加であった。前月比をみると、吟醸酒６％減、純米酒１１％減、本醸造酒１０％減となっている。暑さの影響で出荷量の減少がみられたが、９月からは涼しくなり、日本酒の消費量も増えている。この時期限定の「秋上がり」「ひやおろし」と呼ばれる「秋酒」をお楽しみいただきたい。１０月も引き続き県内外でイベントを実施していく。 |
| 6 | 食品団地 | 原油価格・原材料等価格とも高騰が続き、副資材等も値上がりし在庫不足等の影響が出ている。また、台風等の天候不順の影響によりシルバーウィークの売り上げに影響が出ている。 |

**繊維工業**

| | | |
|---|---|---|
| 7 | ニット | 資材高騰、人件費アップ、電気代アップ等経費が増加している。秋、冬物の生産で追い込みをかけている。 |
| 8 | 縫製業 | 最低賃金の問題が業界でも問題視されている。最低賃金が上がっても加工賃が上がらないなど、どのように対応していけばよいか苦慮している。 |

**木材・木製品**

| | | |
|---|---|---|
| 9 | 製材業 | 原木は、8月から長雨により出材ができず市場への入荷が減少し価格は上昇。スギ製品は丸太価格の値上がりにより値上げ姿勢は強いが、首都圏をはじめ一般工務店向けの荷動きが振るわず思うように値上げが進んでいない。 |

**印刷**

| | | |
|---|---|---|
| 10 | 印刷・同関連業印刷 | 受注動向に大きな変化はない。今年はシルバーウィークで5連休の長期休みになったこともあり、各種イベント開催に期待していたが、台風の影響で天候が悪く、人出の出足は低かった。今後もイベントや県知事選挙も控え、需要に対する競争も激しさを増していくものと思われる。原材料の値上げで価格に反映する努力は必要である。 |

**窯業・土石製品**

| | |
|---|---|
| 11 砕石（県北） | 9月も長期の休みがあったため数量は伸びず。世界的な物価高騰による資材費の高騰が続いており、燃料費やプラントのメンテナンス費用が各社の経営を大きく圧迫している。受注の減少も重なり、厳しい状況に変わりはない。 |
| 12 砕石（いわき） | 前年同月比65.3%の出荷数量となり今年度に入ってかなり悪化している。道路関連工事が減少しており、生産設備を稼働しても出荷のバランスが悪く路盤材が余剰品として余ってしまう。砕石業界として路盤材の在庫が大量に出来てしまい、課題となっている。 |
| 13 生コン | 令和8年9月の組合員生コン出荷数量は66,089㎥と対前年同月比90.7%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比80.6%、官公需が108.0%であった。<br><br>○民需の動向<br>対前年同月比　80.6%<br>対前年同月比増加地区<br>　白河地区　：105.6%　塙町風力発電所建設工事、ヨークベニマル昭和町店改築店工事等<br>　会津地区　：103.5%　シグマ会津工場F棟新築工事、レーベン会津若松中町新築工事<br>対前年同月比減少地区<br>　県北地区　：67.9%　日東紡福島事業センター新棟増築工事、マンション建設工事等<br>　県中地区　：70.1%　㈱イズムフーズMDセンター新築工事、AGCエレクトロニクス本社厚生棟<br>建設工事等<br>　いわき地区：95.7%　リサイクルプラント建設、店舗・倉庫建設工事等<br>　相双地区　：59.2%　１F危険物貯蔵所整備工事、東双みらい製造㈱工場建設工事等<br><br>○官公需の動向<br>対前年同月比　108.0%<br>対前年同月比増加地区<br>　県北地区　：109.2%　浅川トンネル工事、あぶくまクリーンセンター焼却工場建設工事等<br>　白河地区　：103.7%　阿武隈川遊水地整備成竜橋下部工事等<br>　いわき地区：153.8%　道路橋りょう工事、消波堤補修工事等<br>　相双地区　：132.7%　道路橋りょう工事、波倉産業団地敷地造成工事、体育館空調設備工事等<br>対前年同月比減少地区<br>　県中地区　：29.4%　小原田同水管増築工事<br>　会津地区　：91.4%　滝坂地すべり対策沼田護岸工事、砂防工事等 |

**鉄鋼・金属**

| | | |
|---|---|---|
| 14 | 鉄工業（郡山地区） | 鋼材・各種消耗品・工具・機械等の値上げが続いている。特に長期に渡る製作においては途中での価格転嫁は、実際に認められていないと実感している。元請けに伝えたとしても、次の仕事を他社に取られてしまう不安もあり、大きな声に出すことができない。現場工事も、安全書類作成や作業員名簿は電子化が進んできているが、各社統一されているわけでもないため、それぞれのシステムごとに料金がかかるなど、目に見えにくい経費も負担が大きい。特に小規模工事であれば製作・加工金額より諸経費の方が多くかかってしまう。 |
| 15 | 鉄構 | ○鋼材単価高止まり、副資材・消耗費高騰<br>各社とも秋口の仕事量も多く望めない情報が出ている。来年広島県に大型半導体工場建設の話が出ており、その他日本各地における半導体関連の設備投資計画の情報が共有されている。大型物件の建設により、鋼材不足や中小物件の鋼材が値上がり、資材不足が問題となってしまうのではないか心配している。 |

**電気機器**

| | | |
|---|---|---|
| 16 | 電子部品 | 売上、購入資材、雇用関係全体に落ち着きがあるが、イラン、アメリカの紛争に懸念材料が残っている。 |

**その他の製造業**

| | | |
|---|---|---|
| 17 | 漆器 | 店頭売上は前半は弱かったが後半からは好調であった。ネット通販は順調であった。インバウンドは例年9月は弱いが今年は順調であった。 |

**卸売業**

| | | |
|---|---|---|
| 18 | 卸売業（郡山） | 賃金上昇については、企業規模、業種や地域によって格差が生じており、特に地方の中小企業従業員の多くは賃金上昇を実感できておらず、依然として物価高騰の影響に苦慮している。最低賃金の引き上げ対象者だけでなく、周辺の従業員の賃金についても引き上げざるを得ず、人件費負担の増加が重荷となっている。<br>石油製品の卸売業界においては、国の補助金による価格抑制や価格転嫁を進めることで競争上不利になることへの懸念から現在の価格水準が維持され、その負担の一部を販売側が吸収している状況である。<br>建築資材については、仕入価格の改定が年1～2回程度である品目もある一方、取扱品目が多い事業者では、毎月のように仕入価格が上昇しているとの印象を持っている。<br>灯油については、中東情勢の不安定化に加え、ロシアによる輸出制限の影響も見込まれることから、今冬は価格が高騰する可能性が高いとの見方があり、国による支援策を期待する声も聞かれる。<br>人手不足が続く中、若手社員の定着を図るため職場における懇親会の参加自由だけでなく、幹事役を管理職が担当するケースも増えている。酒を飲まない人へ配慮した会場選定や、子どもも参加できる形式を採用するなど、個々の嗜好や家庭環境に配慮した運営が行われるようになってきた。こうした変化は時代の流れを反映したものであり、人材の定着を目的とした取り組みでもある。 |
| 19 | 再生資源 | 国内古紙市場は需要低下が続き、回収、消費ともに減少しているが、アジア向け輸出は伸びてきている。鉄スクラップ市況は8月は下げが続いたが、9月後半より上げ基調。 |
| 20 | 米麦 | 令和７年産米の価格については、豊作と消費量減のため供給過多となり大幅に値下がりしたが、政府備蓄米の買戻しや先送り販売（７年産を１１月以降に販売）情報に反応し下げ止まり状態が続いている。令和８年産米については、間もなく刈取最盛期を迎えるが、天候不順が続いたため品質の低下が心配される。 |

**小売業**

| | | |
|---|---|---|
| 21 | 共同店舗（Ｏ） | 売上・来店客数において、前年度より約1割伸ばし、前月から1割以上実績を落とした。当月記念イベントを開催しシルバーウィークに来店客数を増やすことができた。次月は、実りの秋を迎え、農村地区の稲刈りが終わり家計が潤い、これからの冬支度需要に期待したい。 |
| 22 | 水産物 | 旬の魚（さんま・さけ・いか）の質や入荷が安定しない状況の中、「かつお」の質や入荷が安定しているため、活路を見出したい。 |
| 23 | 家電 | 福島県の省エネ家電購入応援キャンペーンの申請が10月末まで延長になったため、9月中に注文・支払いを済ませ、10月中に設置と申請をするといった物件がやや多かった。そのため、9月でも高性能のエアコン需要があった。秋以降は製品の値上げラッシュで、家電の買替を控える消費者が増え、厳しい状況が続くだろうと懸念される。 |

**商店街**

| | | |
|---|---|---|
| 24 | 郡山市 | 近隣ホテルのリニューアルオープンのため工事が進んでおり、１軒あった空き店舗も解消された。空き店舗は比較的に解消される傾向にある。地区にあるビルの売却が決定し、解体された後駐車場となる予定。 |
| 25 | 南相馬市 | 中心部商店街の栄町は、9月前半をイベントの日として売り出しを行い、9月19日には栄町食堂イベントを実施。曇り空の中多くの住民が集まった。 |
| 26 | 会津若松市 | 長雨に悩まされた一月であった。日本各地の豪雨被害のニュースによって外出を控える方もいたのかもしれないが、物価による影響も大きいと思われる。 |
| 27 | いわき市 | 9月初旬とシルバーウィークは飲食店の売上が良かった。ただし、一部店舗が来月で閉店となるなど、コロナ禍以降ライフスタイルの変化によって外食は少なくなっている。また、街を歩く人の財布のヒモも相当かたいようである。10、11月はイベント等がなく、静かな街になることが予想される。 |
| 28 | 二本松市 | 10月の製品一斉値上げ前の駆け込み需要か、売上減少は下げ止まった。 |

**サービス業**

| | | |
|---|---|---|
| 29 | クリーニング | 9月も天候が悪く、蒸し暑い日が続き家庭で洗う品物が多いため、店舗への持ち込みは少ない。肌寒くなると、夏服から秋服への衣替えシーズンとなるが、物価高騰の影響で品物の出し渋りが予想される。 |
| 30 | 温泉旅館（福島市） | また来て割の影響があるのか、10月を越えて11月の予約が多い。 |
| 31 | 理容 | 今月はシルバーウィークもあり流れとしては好調であった。しかし、来月以降は電気料の値上げ、野菜等の値上がりも予想され、暫く様子見となる。 |
| 32 | 一般廃棄物処理清掃 | （企業の業況）<br>・主に実施している業務は、浄化槽の保守点検及び清掃であり、業況として、長期的には人口の減少により、業務量の減少が懸念される。<br>・短期的には、業況に直接的に影響を与える浄化槽の設置基数に大きな変化がないため一定している。同様に、事業規模についても大きな変化が見られず、主に時機を見た設備（バキューム車等）の更新が行われる程度である。<br>・従業員が高齢化しており、長期的な視点に立っての人員確保が課題である。<br>・原材料価格の高騰や今後の人件費の上昇に伴い、管理料金等の改定を検討。 |

**建設業**

| | | |
|---|---|---|
| 33 | 建設業（県北地区） | 建設事業は公共、民間とも受注件数は前月よりやや伸びているところもあるが、全体的な収益の伸びは小さい。 |
| 34 | 建設業（県南地区） | 規模が大きい民間建築工事の発注が多く、関連する下請けや材料供給で繁忙となっている。公共土木・建築の工事は減少傾向が継続している。 |
| 35 | 電気工事（いわき地区） | ・いわき市内の電気設備工事は着工件数の減少が常態化している。<br>・受注している電気工事に使用する電線、設備資材、部品等の価格上昇が止まらず、また、資材によっては納入期間が長期化して、当初の納期、見積金額との差異が発生し、対応に苦慮している。 |
| 36 | 管工事（県北地区） | 前月比では、給水設備申請は増加したが、排水設備申請は減少した。前年同月累計対比でも、給水設備申請は増加したが、排水設備申請は減少した。 |
| 37 | 専門工事 | 大雨土砂災害など想定外の事態が増えており、建設業界は人手不足や資材高騰によって思うように復興作業を進めることができない。土木建設事業者においては、災害復旧のコストカットやボランティアの活躍などインフラ工事への融通性が低下しており、厳しい状況となっている。 |
| 38 | 電気通信工事 | 受注は継続的に堅調。要因として全体的な業務量としてはそれほど変わっていないが、継続的な人手不足による県外からの引き合いや、技術者の減少により対応出来るところに仕事が集約している。その為、求人に力を入れているが、建設業の求人倍率は相変わらず高く、応募そのものがないという状況が継続している。10月からの最低賃金引上げも含め、賃金上昇によって採用強化を進めているが、その分作業工賃の上昇につながり、このサイクルがどの程度で落ち着くかは不透明な状況。 |

**運輸業**

| | | |
|---|---|---|
| 39 | トラック団地（県北） | 中東地域の紛争は解決の糸口もなく、燃料価格は高騰が続き、エンジンオイルは再度の値上げとなり経費が増加している。長期金利の上昇から借入金利も上昇し支払利息は増加となり、経費増加もあり収益に影響が出ている。 |
| 40 | タクシー（県北） | ９月のタクシーチケット売上も前年を下回った。決済手段の多様化の要因はあるものの、景気や物価上昇や不順な天候要因などからタクシー利用機会が減少しているものと思われる。また一方で１０月１６日から福島県の最低賃金が引き上げられ、減収と経費増による経営悪化が懸念される。１０月は秋の観光シーズンであり、観光客のタクシー利用に期待したい。 |

# 3　景気動向指数(福島県)

## 概　括

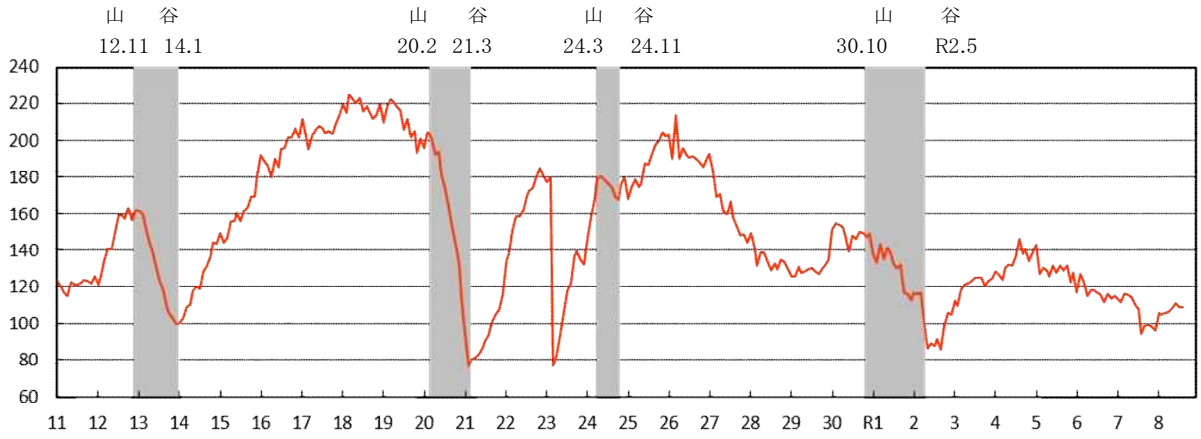
**8月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数117.1ポイント、一致指数108.7ポイント、遅行指数102.6ポイントとなった。**

先行指数は、前月(115.1ポイント)を2.0ポイント上回り、2か月振りの上昇となった。

一致指数は、前月(109.1ポイント)を0.4ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月(101.6ポイント)を1.0ポイント上回り、3か月連続の上昇となった。

**図1　景気動向指数(CI)グラフ　＜一致指数＞(R2=100)**




※CI(Composite indexes):景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

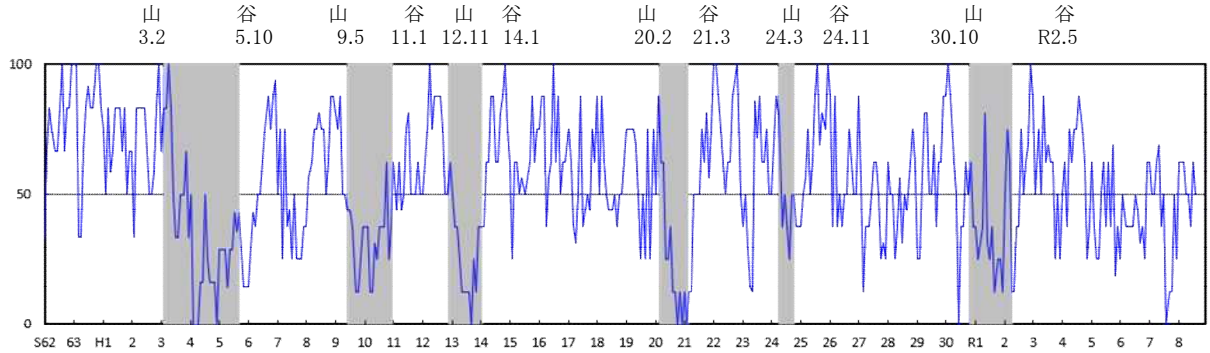
※シャドウ部分は景気後退期(内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による)を示している。

**CI指数表**

| 区分 / 年月 | 景気動向指数(CI指数) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 福島県(令和8年10月8日公表) | | | 全国(令和8年10月7日公表)(速報値) | | |
| | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 |
| 3月 | 115.1 | 105.8 | 101.1 | 115.5 | 117.0 | 111.6 |
| 4月 | 118.1 | 106.3 | 101.5 | 115.9 | 118.3 | 111.6 |
| 5月 | 117.9 | 108.6 | 99.2 | 116.2 | 118.3 | 111.2 |
| 6月 | 118.7 | 110.9 | 99.7 | 116.2 | 118.9 | 111.8 |
| 7月 | 115.1 | 109.1 | 101.6 | 117.6 | 120.6 | 113.0 |
| **R8年8月** | **117.1** | **108.7** | **102.6** | **118.0** | **118.7** | **112.1** |
| 採用指標数 | 7指標 | 8指標 | 5指標 | 11指標 | 10指標 | 9指標 |
| 資料出所 | 県:統計課「福島県景気動向指数」<br>国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」 | | | | | |

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

**図2　景気動向指数(DI)グラフ　＜一致指数＞**




※DI(Diffusion Indexes)　:景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

※シャドウ部分は景気後退期(内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による)を示している。

## 4 「福島県金融経済概況」

令和8年10月22日　日本銀行福島支店

**県内景気は、横ばい圏内の動きとなっている。**（先月：県内景気は、足踏みしている。）

県内景気は、横ばい圏内の動きとなっている。
最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。
鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得環境は、所得面を中心に緩やかに改善している。
消費者物価は、前年を上回って推移している。
先行きについては、物価上昇の個人消費への影響、雇用・所得の動向に加え、各国の通商政策や中東情勢の展開とそれに伴う経済・物価への影響に注意していく必要がある。

## 5 「月例経済報告」

令和8年10月27日　内閣府

**景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。**
（先月：景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。）

（基調判断）

- 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- 設備投資は、持ち直している 。
- 輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- 生産は、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。
- 企業収益は、改善しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。
- 企業の業況判断は、全体としては改善の動きがみられる。ただし、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。
- 雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- 消費者物価は、このところ上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

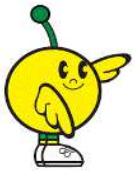
（政策態度）
7月21日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2026」に基づき、「責任ある積極財政」の考え方の下で、「強い経済」と「財政の持続可能性」を一体的に実現する。足元では、様々なリスクに機動的に対応しつつ、デフレに後戻りしない「成長型経済」への移行を確実なものとする。
中東情勢に対しては、当面の措置として、燃料油に対する緊急的な激変緩和措置を実施している。代替調達や必要に応じた備蓄放出により我が国の原油の安定供給を図るとともに、重要物資の安定供給の確保及び流通の円滑化等に努める。令和8年度予算に加え、リスクの最小化の観点から万全の対応を図るものとして編成した令和8年度補正予算を、情勢の変化に応じて適切かつ機動的に執行する。
政府と日本銀行は、引き続き緊密に連携し、経済・物価動向に応じて機動的な政策運営を行っていく。
日本銀行には、経済・物価・金融情勢に応じて適切な金融政策運営を行うことにより、賃金と物価の好循環を確認しつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する。

## 6 「最近の県経済動向」総合判断

| | 判断の変化方向 | 9月(10月8日公表) | 判断の変化方向 | 10月(11月9日公表) |
|---|---|---|---|---|
| 総合判断 | 前月据置 ⇨ | 県内の景気は、足踏み状態となっている。 | 前月据置 ⇨ | 県内の景気は、足踏み状態となっている。 |




キビタン©福島県



「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけま

ふくしま統計情報BOX　検索

## ■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。一部の計数は速報値を用いており、確報訂正や遡及改定により、前回発表の計数と相違する場合があります。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業景気動向調査結果(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

## ■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、
福島県統計課 『最近の県経済動向』から抜粋(又は作成)した旨を明記してください。

福島県企画調整部統計課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7148 内線 (2432)
FAX 024(521)7914
E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp

※次回の公表(令和8年11月分)は、令和8年12月上旬の予定です。